岡山大学－中国東北部大学院留学生交流プログラム

O-NECUS

双方向学位制度・短期留学制度

〈学生受入れ・派遣に関する要項〉

O-NECUS コンソーシアム参加大学

大連医科大学
中国医科大学
吉林大学
東北大学
東北師範大学
ハルピン医科大学
長春理工大学

岡山大学

２０２１年　４月　入学
２０２１年１０月　入学

目　　次

I　共通事項

１．プログラム概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

○ 双方向学位（ダブルディグリー）制度　・・・・・・・・・　２

○ 短期留学（単位互換）制度－非正規生　・・・・・・・・・　４

○ オータム及びスプリングセミナー制度　・・・・・・・・・　５
（海外特別選抜入試を含む）

○ 岡山大学中国事務所の設置　・・・・・・・・・・・・・　５

○ VISA 取得と渡日　・・・・・・・・・・・・・・　５

２．連絡先　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

II　各研究科の募集案内

○大学院教育学研究科　・・・・・・・・・　９

○大学院社会文化科学研究科　・・・・・・・・・　１３

○大学院自然科学研究科　・・・・・・・・・　１８

○大学院保健学研究科　・・・・・・・・・　２１

○大学院環境生命科学研究科　・・・・・・・・・　２４

○大学院医歯薬学総合研究科　・・・・・・・・・　２７

○大学院ヘルスシステム統合科学研究科　・・・・・・・・・　５４

III　各種様式　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５７

I.　共通事項

【重要】新型コロナウイルス感染症による留学への影響について

1．　日本における新型コロナウイルスに関する水際対策強化（ビザ発給等含む）又は日本国外務省が発出する感染症危険情報等に基づく本学の判断により，受入れを中止又は中断する場合があります。

　日本の新型コロナウイルス感染症に関する水際対策の強化に係る措置については、外務省ホームページ（www.mofa.go.jp/mofaj/index.html）を参照してください。

2．　留学開始前の中止，留学の中断や一時帰国の際に発生する旅費や派遣先の宿泊費など，一切の経費は自己負担となります。

１．プログラム概要

岡山大学ー中国東北部大学院留学生交流プログラム

O－NECUS

タイトル説明：本プログラムの愛称「O-NECUS（オネックス）」とは
Okayama University-North East China Universities platform,
‘Graduate’ Student Exchange Program の略称である。

岡山大学と中国東北部の７大学は，優れた人材の育成を共同で行い，大学院学位の国際的通用性，質の保証，国際水準の教育の提供を図るプログラムを構築することの必要性から，コンソーシアムを構築，共同プログラムとしてＯ－ＮＥＣＵＳを実施する。

岡山大学での O-NECUS プログラム実施研究科

- 大学院教育学研究科
- 大学院社会文化科学研究科
- 大学院自然科学研究科
- 大学院保健学研究科
- 大学院環境生命科学研究科
- 大学院医歯薬学総合研究科
- 大学院ヘルスシステム統合科学研究科

○　双方向学位（ダブルディグリー）制度

１）岡山大学と中国東北部７大学の大学院修士課程の学生 及び 学士-修士連結学生を対象とし，両大学間で共同の大学院プログラムを作成・締結することにより，当該プログラムに基づき，学生は双方の大学へ正規生として入学し，双方の大学の修了要件を満たすことによって，両大学の学位（修士）を取得することができる制度。

２）双方向学位制度を実施する研究科及び受入・派遣人数

実施研究科	大連医科大学	東北師範大学	中国医科大学	ハルピン医科大学	吉林大学	長春理工大学	東北大学	受入人数	派遣人数
教育学研究科	－	○	－	－	－	－	－	3	2
社会文化科学研究科	－	○	－	－	○	－	○	7	6

３）入学試験等の実施方法

《岡山大学が受け入れる場合》

岡山大学への入学希望者は，中国側大学の修士課程の学生 及び 学士-修士連結学生で成績良好であること。岡山大学博士後期課程（教育学研究科においては連合大学院）入学希望者が望ましい。

①　受入教員が決定していること。

②　特別選抜入試（書類選考（日本語能力試験，TOEFL，等）と面接）を実施し，その結果に基づき，合否を決定する。特別選抜入試の方法等は、各研究科が別に定める（各研究科の募集案内を参照のこと）。

③　本プログラムの入学時期は，４月又は１０月のいずれか受入研究科が指定する時期とする（各研究科の募集案内を参照のこと）。

《岡山大学が派遣する場合》

岡山大学教員と中国側大学教員の面接・書類選考による特別選抜入試を経て，中国側大学に入学する。

４）検定料，入学料，授業料等の取扱い

①　学生は相互に正規生として扱い，相手大学の検定料，入学料，授業料は免除とする。

②　学生の移動に伴う旅費，滞在費は学生負担とする。

③　両大学は，学生の宿泊施設への入居について努力する。

５） 双方向学位制度　修士論文の表記

Ａ 本籍が中国の大学の場合

○ 修士論文（Thesis）について，中国語又は英語又は日本語とする。

○ 中国の大学に提出する場合には，中国語又は英語又は日本語

○ 岡山大学に提出する場合には，英語又は日本語

Ｔｈｅｓｉｓ

Title ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

中国語又は英語又は日本語とする

氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿

指導教員　　中国の大学の指導者名

〃　　岡山大学の指導者名

Ｂ 本籍が岡山大学の場合

○ 修士論文（Thesis）について，英語又は日本語とする。

○ 岡山大学に提出する場合には，英語又は日本語

○ 中国の大学に提出する場合には，英語又は日本語

Ｔｈｅｓｉｓ

Title ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

英語又は日本語とする

氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿

指導教員　　岡山大学の指導者名

〃　　中国の大学の指導者名

Ｃ その他修士課程での研究内容を英文として雑誌発表する場合

記載については，両大学の指導教員の相談による。

○　短期留学(単位互換)制度－非正規生

１）６か月～１年間の大学院修士課程学生 及び 学士-修士連結学生の短期留学(単位互換)制度。

２）短期留学（単位互換）制度を実施する研究科及び受入・派遣人数

実施研究科	大連医科大学	東北師範大学	中国医科大学	ハルピン医科大学	吉林大学	長春理工大学	東北大学	募集人員
教育学研究科	－	○	－	－	－	－	－	各研究科の募集案内（P8～）を参照のこと
社会文化科学研究科	－	○	－	－	○	○	○	
自然科学研究科	－	○	－	－	－	○	－	
保健学研究科	○	－	－	－	○	－	－	
環境生命科学研究科	－	－	－	－	○	－	－	
医歯薬学総合研究科	○	－	○	○	○	－	－	
ヘルスシステム統合科学研究科	－	○	－	－	－	○	○	
岡山大学全体								３０

３）受入れの実施方法

《岡山大学が受け入れる場合》

① 岡山大学各研究科（修士課程・博士前期課程）に６か月～１年間で１０～２０単位を取得することができるコースを設置し，受入最大人数は，全学で３０名以内とする。

② 受入者の選考は，書類選考及び面接によるものとし，その方法は研究科ごとに別に定める（各研究科の募集案内を参照のこと）。

③ 受入の条件は、中国側各大学の修士学生，学士-修士連結学生 又は 修士相当の学力を有し，成績良好で受入教員が確定していること。

④その他受入れに関し必要な事項は、研究科ごとに定める。

《岡山大学が派遣する場合》

①中国側大学において，６か月～1 年間で１０～２０単位を取得することができる。派遣最大人数は全学で３０名以内とする。

② 派遣学生の選考は，毎年４，５月に各研究科において選考する。

③ 派遣の条件は、派遣予定年度の入学者で，成績良好であって，中国側大学での受

入教員が確定していること。

４）検定料，入学料，授業料等の扱い

① 学生は相互に非正規生として扱い，相手大学の検定料，入学料，授業料は免除とする。

② 学生の移動に伴う旅費，滞在費は学生負担とする。

③ 両大学は，学生の宿泊施設への入居について努力する。

５）短期留学(単位互換)制度　修士論文について

短期留学(単位互換)制度にかかる教育研究内容を修士論文に記載する場合は､学内論文であってもオーサーシップ,公表の範囲等について事前に両大学の関係者間で相談しておくものとする。

○　オータム及びスプリングセミナー制度（海外特別選抜入試を含む）

毎年（１回）１週間程度,中国へ各研究科若干名の教員を派遣して,中国事務所の協力を得てプログラムを説明し,受入れ教員とのマッチング,学生の選択等の特別選抜入試を実施する。

社会文化科学研究科においては，通例年１回，秋季又は春季に中国側大学においてプログラム説明，共同授業の開催等を実施することとする。特別選抜入試については，秋季に書類選考及びインターネット面接により実施する。

教育学研究科においては,通例年１回秋季に，入学希望者を対象にプログラムの説明をオンラインにより実施することとする。特別選抜入試については,入学年の春季に書類選考及びオンライン面接により実施する。

○ 岡山大学中国事務所の設置

① 岡山大学長春事務所・・・東北師範大学（長春）内　（2007 年 8 月設置)。
主担当：吉林大学（文系）,東北師範大学（文系,教育系,自然系),
長春理工大学（文系,自然系）
所　長：岡山大学　木村　邦生　国際担当副学長

② 岡山大学瀋陽事務所・・・中国医科大学（瀋陽）内　（2007 年 8 月設置)。
主担当：中国医科大学,吉林大学（医療系）,大連医科大学,ハルピン医科大学
所　長：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科　長塚 仁　教授

○ VISA 取得と渡日（**双方向学位制度・短期留学制度 共通**）

合格した者に対して岡山大学国際部留学交流課が在留資格認定証明書を入国管理局へ申請する。在留資格認定証明書を取得した後，岡山大学国際部留学交流課から中国各大学国際交流室に送付するので，学生は在留資格認定証明書を受け取り次第，大使館・領事館で VISA を申請する。

渡日は，渡日計画書（入学手続書類）によるが，４月入学の場合，同年９月頃又は翌年３月頃，１０月入学の場合，翌年３月頃を予定する。

渡日後は，岡山大学国際部が実施する留学生オリエンテーション及び各研究科実施のオリエンテーションを受け，受入教員に配属される。

また，短期留学制度による学生が帰国後に再度来日して岡山大学大学院入学試験を受験する場合は，受入教員が国際部留学交流課と連携し，受験のための短期滞在 VISA（９０日）に必要な手続きを行う。

２．連　絡　先

岡山大学 長春事務所

所 在 地（郵便物の宛先）：
吉林省長春市浄月大街 2555
東北師範大学 浄月キャンパス留日予校 206 室　　郵便番号　130117
所　　長：木村　邦生　　岡山大学 国際担当副学長
事務担当：宋賀群（Song Hequn）
TEL：+86-155-4328-8200
E-mail：mary_shq@163.com

岡山大学 瀋陽事務所

住　　所：遼寧省瀋陽市瀋北新区蒲河路 77 号　　郵便番号　110122
中国医科大学内　岡山大学瀋陽事務所
所　　長：長塚　仁　　岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授
E-mail：jin@md.okayama-u.ac.jp
TEL：+81-86-235-6650
（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔病理学分野 教授室）
事務担当：孫賀一（Sun He Yi）
衛生部中国医科大学外語培訓中心，辦公室主任，講師
TEL, FAX：86-24-31939585
携帯電話：18900910200
E-mail：sunheyi201103@163.com

岡山大学受け入れ研究科の事務室

教育学研究科

〒700-8530　日本国岡山県岡山市北区津島中３－１－１
岡山大学教育学系教職支援グループ
TEL：+81-86-251-7588　　FAX：+81-86-251-7586
E-mail：hgg7598@adm.okayama-u.ac.jp

社会文化科学研究科

〒700-8530　日本国岡山県岡山市北区津島中３－１－１
岡山大学大学院社会文化科学研究科教務学生担当
TEL：+81-86-251-7357　　FAX：+81-86-251-7350
E-mail：ggg7372@adm.okayama-u.ac.jp

自然科学研究科

〒700-8530　日本国岡山県岡山市北区津島中３－１－１
岡山大学自然系研究科等学務課大学院担当
TEL：　+81-86-251-8576　　FAX：　+81-86-251-8580
E-mail：　agf8576@adm.okayama-u.ac.jp

保健学研究科

〒700-8558　日本国岡山県岡山市北区鹿田町２－５－１
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ保健学研究科担当
TEL：　+81-86-235-7984　　FAX：　+81-86-235-7045
E-mail：　ishiyaku-g-hoken@adm.okayama-u.ac.jp

環境生命科学研究科

〒700-8530　日本国岡山県岡山市北区津島中３－１－１
岡山大学自然系研究科等学務課大学院担当
TEL：　+81-86-251-8011　　FAX：　+81-86-251-8580
E-mail：　agf8576@adm.okayama-u.ac.jp

医歯薬学総合研究科

〒700-8558　日本国岡山県岡山市北区鹿田町２－５－１
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ大学院担当
TEL：　+81-86-235-7986　　FAX：　+81-86-235-7045
E-mail：　kdf7986@adm.okayama-u.ac.jp

ヘルスシステム統合科学研究科

〒700-8530　日本国岡山県岡山市北区津島中３－１－１
岡山大学自然系研究科等学務課大学院担当
TEL：　+81-86-251-7771　　FAX：　+81-86-251-8580
E-mail：hs7771@adm.okayama-u.ac.jp

岡山大学 国際部留学交流課／学務部学務企画課（制度、協定等に関すること）

〒700-8530　日本国岡山県岡山市北区津島中２－１－１

岡山大学 国際部留学交流課
TEL：　+81-86-251-7051　　FAX：　+81-86-252-5022
E-mail：　dde7046@adm.okayama-u.ac.jp

岡山大学 学務部学務企画課
TEL：　+81-86-251-8457　　FAX：　+81-86-251-8440
E-mail：　apg-gakumu@adm.okayama-u.ac.jp

II.　各研究科募集案内

○教育学研究科

1）日程（双方向学位制度・短期留学制度共通）

1 出願期間	1月末 PDF 提出 3月末 原本提出
2 書類審査及び面接（オンラインにより実施）	4月下旬
3 合格（受入許可）発表	5月末
4 入学手続	7月中旬
5 岡山大学入学	１０月
6 渡日	１０月 又は翌年４月

2）募集人員

双方向　　３名

短期留学　　若干名

※ 双方向学位制度の合格者が募集人員に満たない場合は，満たない人員数を短期留学生制度の募集人員に加えることができるものとする。

3）出願資格

【双方向学位制度の場合】

次のいずれかに該当する者

１）O-NECUS 参加大学大学院修士課程(3年制) の１年次生

２）O-NECUS 参加大学の学部(5年)－修士(2年)連結コース の５年次生

３）O-NECUS 参加大学大学院修士課程(2年制) に入学予定の者

４）その他双方の大学で適当と認めた者

【短期留学制度の場合】

O-NECUS 参加大学修士課程大学院生 又は 学部(5年)－修士(2年)連結コース在学生

4）出願書類提出に先立ち必要な手続（受入希望教員とのマッチング）

1月～3月

ⅰ） 出願希望者は，１月末日までに，在籍証明書（様式③）及び宣誓書（様式⑥）を除く出願書類一式の PDF ファイルを東北師範大学を通じて岡山大学教育学系教職支援グループへ提出する。

（記入事項のうち，どの教員が指導教員として適当か判断できない場合は，未定としてもよい。また、その他記入事項で未定のものは未定としてもよい。）

ⅱ） 教育学研究科で希望する指導教員又は希望する教育・研究分野の教員とのマッチ

ングを行い，このマッチングの結果を考慮して日本語又は英語によるオンライン面接を行います。マッチングの結果は，面接試験の時に出願希望者にお知らせします。なお，英語による面接を希望する場合は，必ず事前に東北師範大学を通じて岡山大学教育学系教職支援グループへ申し出ること。

5） 出願手続

出願書類は，様式に合わせて中国語又は日本語及び英語で作成し，中国各大学の国際交流室に提出すること。

6） 出願書類

１）O-NECUS 制度 入学願書 【様式①】

２）O-NECUS 制度 履歴書 【様式②】

３）O-NECUS 制度 在籍証明書 【様式③】
（３）出願資格［双方向学位制度］３）で出願する者は入学手続き時に提出）

４）O-NECUS 制度 在籍大学指導教授 推薦書 【様式④】

５）O-NECUS 制度 研究計画書（日本語又は英語）【様式⑤】
（出願時に提出）

６）O-NECUS 制度 渡日計画書【様式⑦】
（出願時に提出）

＊ 上記の外，出願書類に課す条件は次のとおり。

【双方向学位,短期留学制度とも】

① 出願書類は日本語で作成すること。

② 出願書類に加え，下記のうちのいずれか１つ提出すること。ただし２）については，指導教員が指定した場合に限ります。

１）独立行政法人国際交流基金が 2019 年 4 月 1 日以降に実施した日本語能力試験Ｎ１合格通知書又はＮ２の成績通知書（110 点以上のもの）

２）2019 年 4 月 1 日以降に実施された TOEFL-iBT の Examinee Score Report（61 点以上のもの）

7） 選抜方法（**双方向学位制度・短期留学制度 共通**）

出願書類による書類審査及びオンラインによる面接（日本語又は英語）を実施する。なお,オンライン面接の実施方法については，別に定める。

8） 合格（受入許可）発表（**双方向学位制度・短期留学制度 共通**）

岡山大学各研究科が E-mail により志願者及び在籍大学指導教授へ連絡し，後日，合格通知書（受入許可）を送付する。

なお，①出願資格［双方向学位制度］３）で出願し，合格した者については，中国 O-NECUS 参加大学大学院合格が岡山大学入学の必須条件となる。

９）　入学手続（**双方向学位制度・短期留学制度 共通**）

４月入学の場合２月中旬までに，１０月入学の場合８月中旬までに以下の書類を中国各大学国際交流室へ提出すること。

（１）宣誓書【様式⑥】（双方向学位制度入学者のみ）

（２）写真（縦４㎝×横３㎝）２枚

（３）パスポートのコピー

（４）<u>①出願資格［双方向学位制度］３）</u>で出願した者は，

O-NECUS 制度 在籍証明書【様式③】

１０）　問い合わせ・出願書類提出先

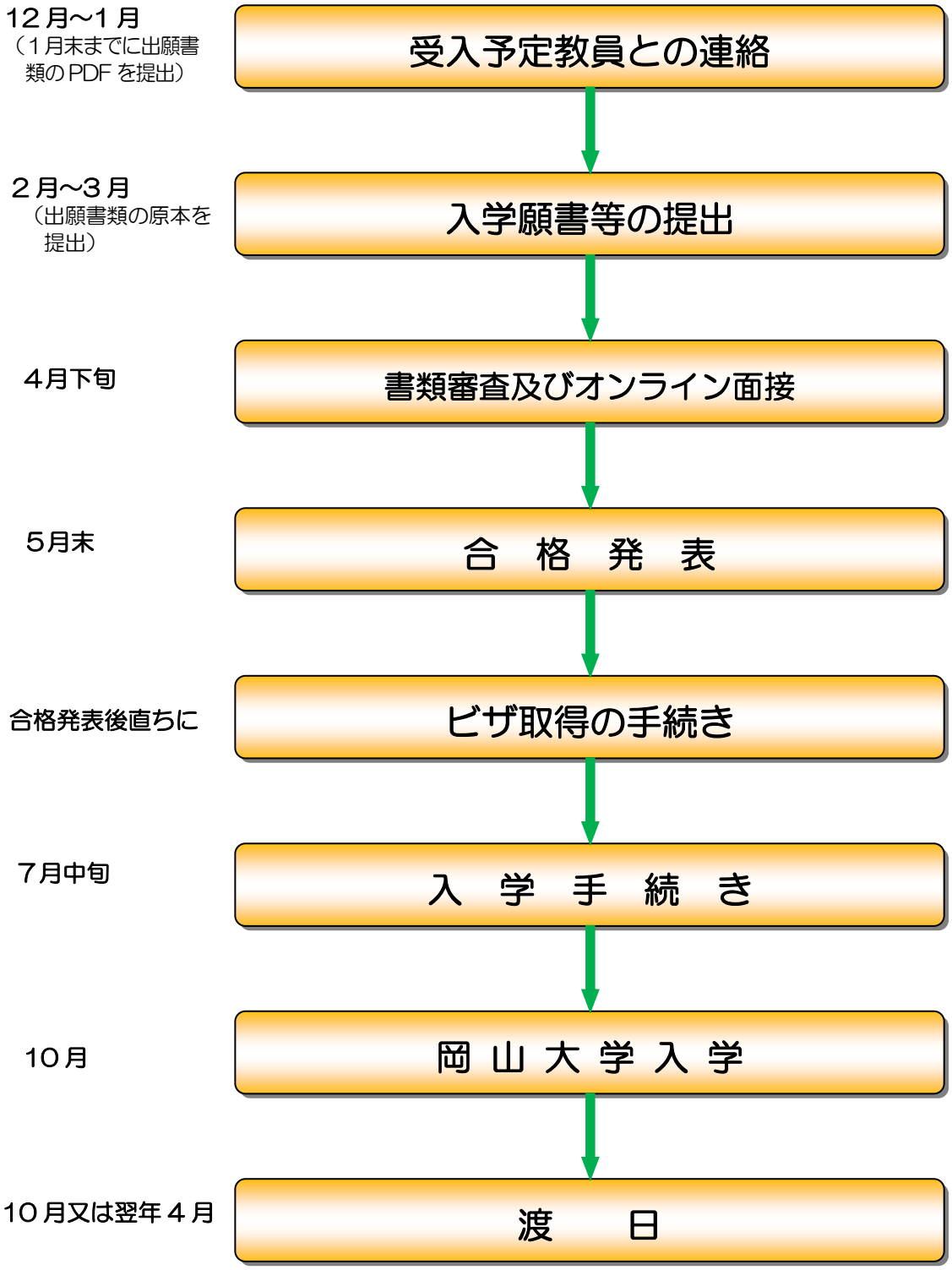
岡山大学教育学系教職支援グループ

〒700-8530　日本国岡山県岡山市北区津島中３－１－１

TEL：　+81-86-251-7588　　FAX：　+81-86-251-7586

E-mail：　hgg7598@adm.okayama-u.ac.jp

１１）出願から渡日までの流れ



○社会文化科学研究科

１）　日程（双方向学位制度・短期留学制度共通）

１出願期間 PDF 提出	１０月中旬～１０月３０日
２マッチング	１１月初旬～１１月１３日
３出願期間 原本提出	１１月中旬～１１月２５日
４面接（インターネット面接） ※【注】	１１月下旬～１２月中旬
５合格（受入許可）発表	１月中旬
６入学手続	２月中旬（４月入学） 又は ８月中旬（１０月入学）
７岡山大学入学	４月又は１０月（双方向は４月のみ）
８渡日	４月又は１０月

※【注】短期留学制度については原則として面接を行わずに書類審査による。
ただし、審査上必要な場合は面接を行う。

２）募集人員

双方向　　７名
短期留学　　８名

３）出願資格

【双方向学位制度の場合】

次のいずれかに該当する者

（１）O-NECUS 参加大学大学院修士課程(3年制) の１年次生
（２）O-NECUS 参加大学の学部(5年)－修士(2年)連結コース の５年次生
（３）O-NECUS 参加大学大学院修士課程(2年制) に入学予定の者
（４）その他双方の大学で適当と認めた者

【短期留学制度の場合】

O-NECUS 参加大学修士課程大学院生 又は 学部(5年)－修士(2年)連結コース在学生

４）出願書類提出に先立ち必要な手続（受入希望教員とのマッチング）　10 月～11 月

ｉ）中国各大学の国際交流室は，出願書類の PDF を社会文化科学研究科 国際連携推進センターに提出する。

提出期限：10 月 30 日(金) 日本時間 17：00（必着）
提 出 先：国際連携推進センター
Email: hss-egec@cc.okayama-u.ac.jp
提出書類：出願書類すべての PDF

なお，出願書類の受入希望教員名は下記「社会文化科学研究科の教員紹介」を参

考にして必ず記入すること。

ⅱ）国際連携推進センターで本研究科教員とのマッチングを行い，マッチング結果を在籍大学の国際交流室に連絡します。なお，11 月 13 日までにマッチングが成立しない場合は，出願書類は受理されません。

ⅲ）マッチングが成立し、出願書類に不備がないことを確認したのち、在籍大学の国際交流室は，出願書類の原本を社会文化科学研究科 国際連携推進センターに提出する。

提出期限：11 月 25 日(水)（必着）
提 出 先：国際連携推進センター（下記連絡先）
提出書類：出願書類すべての原本

○連絡先：社会文化科学研究科 国際連携推進センター

〒700-8530 日本国岡山県岡山市北区津島中３－１－１　文法経１号館 159 室

E-mail： hss-egec@cc.okayama-u.ac.jp

TEL/FAX： +81-86-251-8446

○社会文化科学研究科の教員紹介

社会文化科学研究科 URL　http://shabun.ccsv.okayama-u.ac.jp/

「研究科紹介」→「講座・教員紹介」→「教員の紹介」

URL　http://shabun.ccsv.okayama-u.ac.jp/staff/

○岡山大学 URL　http://www.okayama-u.ac.jp/

「研究者・教員情報検索」

5）出願手続

出願書類は，様式に合わせて中国語又は日本語及び英語で作成し，在籍大学の国際交流室に提出すること。

6）出願書類

（１）O-NECUS 制度 入学願書 【様式①】
（２）O-NECUS 制度 履歴書 【様式②】
（３）O-NECUS 制度 在籍証明書 【様式③】
（４）O-NECUS 制度 在籍大学指導教授 推薦書 【様式④】
（５）O-NECUS 制度 研究計画書（日本語又は英語）【様式⑤】
（６）O-NECUS 制度 渡日計画書【様式⑦】
（７）学部及び大学院の成績証明書並びにその日本語訳
（大学院１年次生で,大学院の成績証明書を提出できない者は,不要とする。）

＊ 上記の外，出願書類に課す条件は次のとおり。

【双方向学位制度出願者の場合】

① 出願書類は日本語版の様式を使用し，日本語で作成すること。

② 日本語能力試験１級又はＮ１合格の「認定結果及び成績に関する証明書（又は「合否結果通知書」)」及び「日本語能力認定書」，又は日本留学試験のうち日本語の 280 点以上の「成績通知書」を提出すること。なおいずれも原本を提出すること（後日返却する)。

③ 卒業論文（書類は原則Ａ４サイズを用いること）

④ 卒業論文要旨（日本語又は英語での作成、書類は原則 Ａ４サイズを用いること）

【短期留学制度出願者の場合】

① 出願書類は日本語版の様式を使用し，日本語で作成すること。

② 日本語能力試験 2 級以上又はＮ２以上合格の「認定結果及び成績に関する証明書」(又は「合否結果通知書」)」及び「日本語能力認定書」を提出すること。なおいずれも原本を提出すること（後日返却する)。

７） 選抜方法（双方向学位制度・短期留学制度共通）

出願書類による書類審査及びインターネット面接（日本語）を実施する。

（１）面接【注】

（２）会場　　中国各大学指定の場所又は長春事務所,瀋陽事務所

＊面接日及び会場の詳細は，後日在籍大学国際交流室を通じて通知する。

（３）面接時の持参書類

身分証明書

研究計画書（日本語又は英語）

【注】短期留学制度については原則として面接を行わずに書類審査による。ただし、審査上必要な場合は面接を行う。

８） 合格（受入許可）発表（双方向学位制度・短期留学制度 共通）

岡山大学各研究科が E-mail により在籍大学の国際交流室へ連絡し，後日，合格通知書（受入許可）を送付する。

なお，３）出願資格【双方向学位制度】（３）で出願し，合格した者については，中国 O-NECUS 参加大学大学院合格が岡山大学入学の必須条件となる。

９） 入学手続（双方向学位制度・短期留学制度 共通）

４月入学の場合２月中旬までに，１０月入学の場合８月中旬までに以下の書類を在籍大学の国際交流室へ提出すること。

（１）宣誓書（双方向学位制度入学者のみ)

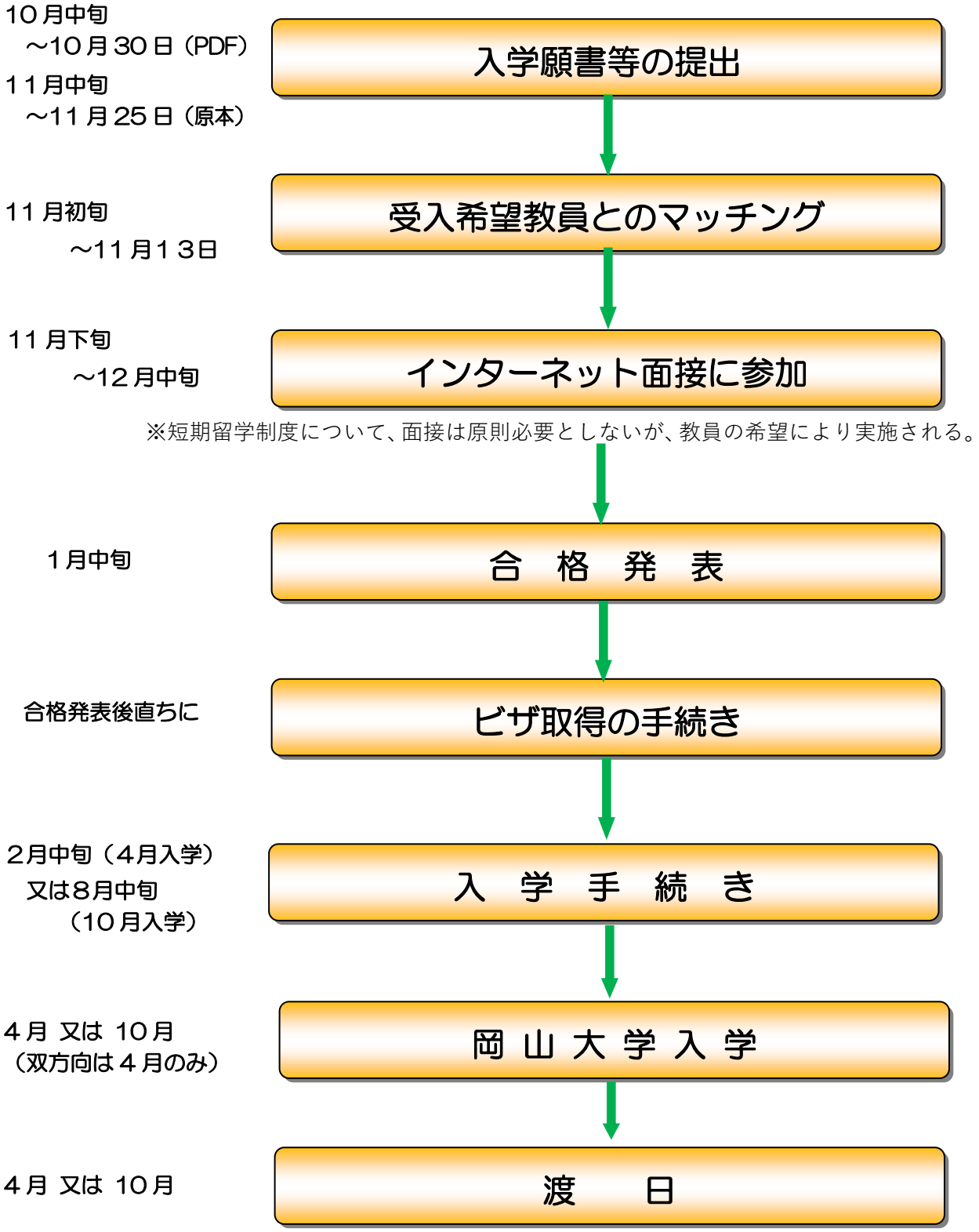
（２）身上書（双方向学位制度入学者のみ)

（３）留学生身上書
（４）写真（縦４㎝×横３㎝）（双方向学位制度入学者は３枚、短期留学制度入学者は１枚）
（５）パスポートのコピー

１０）　問い合わせ・出願書類提出先

岡山大学大学院社会文化科学研究科国際連携推進センター
〒700-8530　日本国岡山県岡山市北区津島中３－１－１　文法経１号館 159 室
TEL/FAX：　+81-86-251-8446
E-mail：　hss-egec@cc.okayama-u.ac.jp

11）出願から渡日までの流れ



○自然科学研究科

1）日程（短期留学制度）

1 出願期間	2月～3月上旬
2 インターネット面接	3月～4月
3 合格（受入許可）発表	6月末
4 入学手続	8月中旬 又は 翌年2月中旬
5 岡山大学入学	１０月 又は 翌年4月
6 渡日	１０月 又は 翌年4月

2）募集人員

短期留学　　若干名

3）出願資格

O-NECUS 参加大学修士課程大学院生 又は 学部(5年)－修士(2年)連結コース在学生

4）出願手続

出願書類は，様式に合わせて中国語又は日本語及び英語で作成し，中国各大学の国際交流室に提出すること。

5）出願書類

1）O-NECUS 制度 入学願書　【様式①】
2）O-NECUS 制度 履歴書　【様式②】
3）O-NECUS 制度 在籍証明書　【様式③】
4）O-NECUS 制度 在籍大学指導教授 推薦書　【様式④】
5）O-NECUS 制度 研究計画書（日本語又は英語）【様式⑤】
（出願時に提出）

＊ 上記の外，出願書類において各研究科の課す条件は次のとおり。

① 出願書類に加え，下記のうちのいずれか1つ提出すること。

1）日本語能力試験Ｎ２以上の合格通知書
2）TOEFL・PBT(ITP 含む)の 500 点以上の成績通知書
3）TOEFL・CBT の 173 点以上の成績通知書
4）TOEFL・iBT の 61 点以上の成績通知書
5）TOEIC の 590 点以上の成績通知書
6）IELTS(overall score)の 5.5 以上の成績通知書

※ 上記の検定試験及びスコアが志願可能な基準ですが，これらに類する他の検定試験（CET-6 等）を受けている場合は，次のものを提出してください。面接試験により語学能力を確認します。

・検定試験の成績通知書 又は 合格通知書

② E-mail による志願者と受入教員とのインタビュー交信録（日本語又は英語）
【様式任意】

6） 選抜方法

出願書類による書類審査及び面接（日本語又は英語）を実施する。

（1）面接　　スプリングセミナー時
（2）会場　　中国各大学指定の場所又は長春事務所,瀋陽事務所
＊面接日及び会場の詳細は，後日在籍大学国際交流室を通じて通知する。
（3）面接時の持参書類
身分証明書
研究計画書（日本語又は英語）【出願時に未提出の場合のみ】

7） 合格（受入許可）発表

岡山大学各研究科が E-mail により志願者及び在籍大学指導教授へ連絡し，後日，合格通知書（受入許可）を送付する。

8） 入学手続

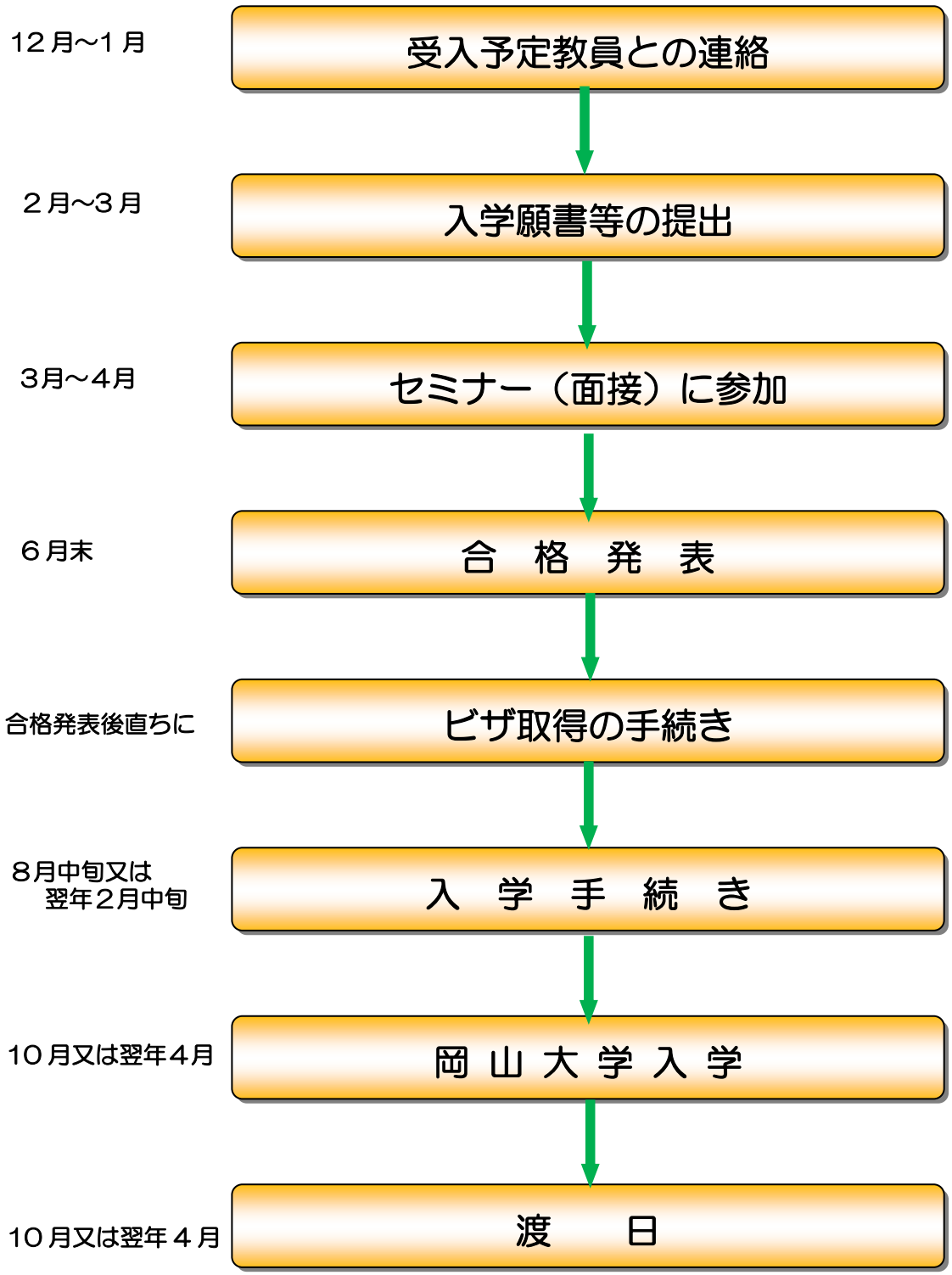
４月入学の場合２月中旬までに，１０月入学の場合８月中旬までに以下の書類を中国各大学国際交流室へ提出すること。

（1）写真（縦４㎝×横３㎝）２枚
（2）O-NECUS 制度 渡日計画書【様式⑦】
（3）パスポートのコピー

9） 問い合わせ・出願書類提出先

岡山大学自然系研究科等学務課大学院担当
〒700-8530 日本国岡山県岡山市北区津島中３－１－１
TEL： +81-86-251-8576　　FAX： +81-86-251-8580
E-mail： agf8576@adm.okayama-u.ac.jp

１０）出願から渡日までの流れ



○保健学研究科

1）日程（短期留学制度）

1 出願期間	１０月頃～１２月中旬
2 面接（セミナー時に実施）	３月中旬
3 合格（受入許可）発表	４月中旬
4 入学手続	５月末～６月
5 渡日，岡山大学入学	９月末～１０月

2）募集人員

短期留学　　若干名

3）出願資格

O-NECUS 参加大学修士課程大学院生 又は 学部(5年)－修士(2年)連結コース在学生

4）　出願手続

出願書類は，様式に合わせて中国語又は日本語及び英語で作成し，中国各大学の国際交流室に提出すること。

5）　出願書類

1）O-NECUS 制度 入学願書　【様式①】

2）O-NECUS 制度 履歴書　【様式②】

3）O-NECUS 制度 在籍証明書　【様式③】

4）O-NECUS 制度 在籍大学指導教授 推薦書　【様式④】

5）O-NECUS 制度 研究計画書（日本語又は英語）【様式⑤】
（出願時に用意できない場合は,面接時に持参すること。）

＊ 上記の外，出願書類に課す条件は次のとおり。

① 出願書類に加え，下記のうちのいずれか１つ提出すること。

1）日本語能力試験Ｎ２以上の合格通知書

2）TOEFL・PBT(ITP 含む)の 500 点以上の成績通知書

3）TOEFL・CBT の 173 点以上の成績通知書

4）TOEFL・iBT の 61 点以上の成績通知書

5）TOEIC の 590 点以上の成績通知書

6）IELTS(overall score)の 5.5 以上の成績通知書

※上記の検定試験及びスコアが志願可能な基準ですが，これらに類する他の

検定試験（CET-6 等）を受けている場合は，次のものを提出してください。
面接試験により語学能力を確認します。

・検定試験の成績通知書 又は 合格通知書

② E-mail による志願者と受入教員とのインタビュー交信録（日本語又は英語）【様式任意】

③ 健康診断書【様式任意】

※ 保健学研究科の必要書類については，下記９）の研究科担当事務部に確認すること。

6） 選抜方法

出願書類による書類審査及び面接（日本語又は英語）を実施する。

（1）面接　　スプリングセミナー時
（2）会場　　中国各大学指定の場所又は長春事務所，瀋陽事務所
＊面接日及び会場の詳細は，後日在籍大学国際交流室を通じて通知する。
（3）面接時の持参書類
身分証明書
研究計画書（日本語又は英語）【出願時に未提出の場合のみ】

7） 合格（受入許可）発表

岡山大学各研究科が E-mail により志願者及び在籍大学指導教授へ連絡し，後日，合格通知書（受入許可）を送付する。

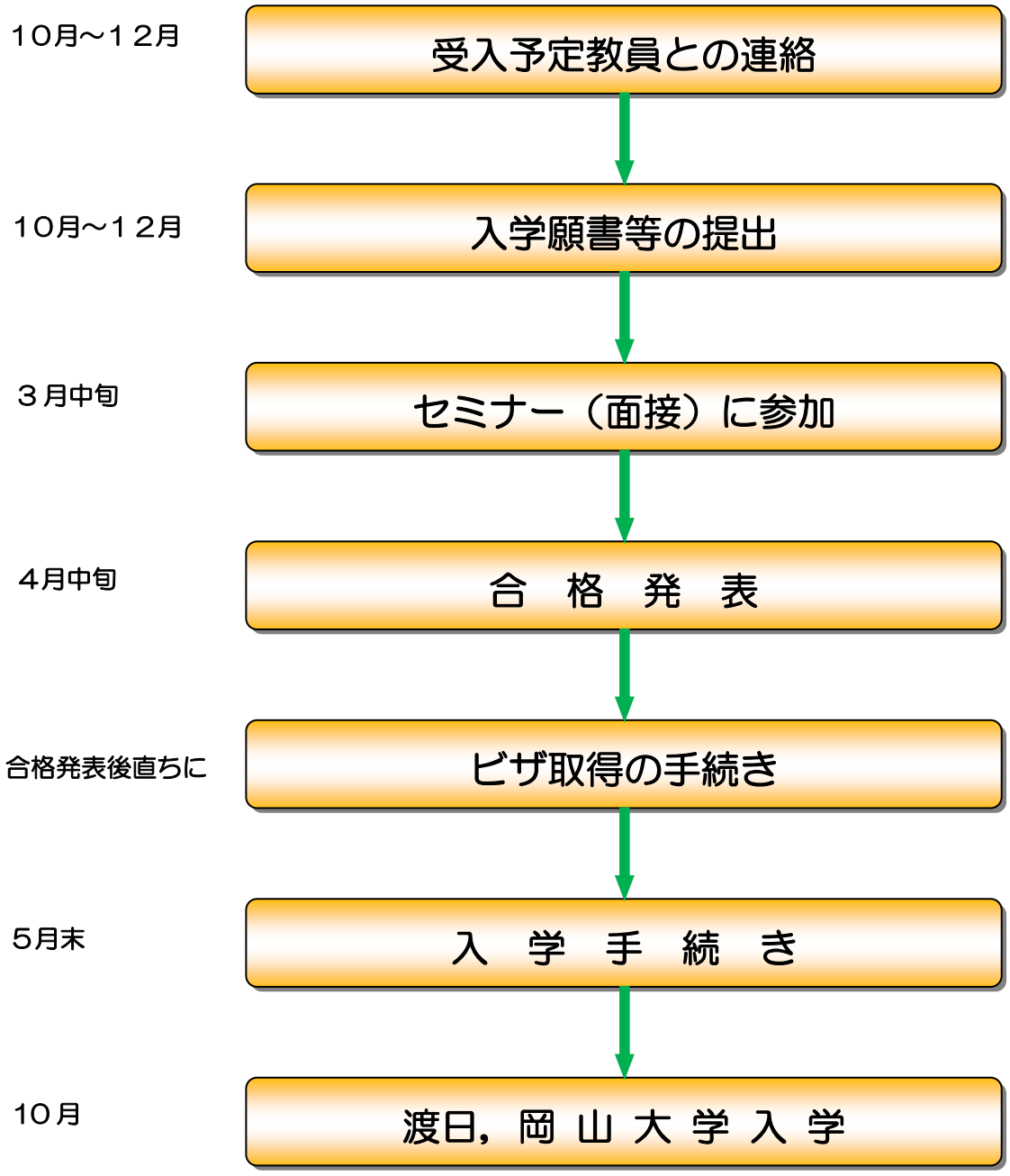
8） 入学手続

８月中旬までに以下の書類を中国各大学国際交流室へ提出すること。
（1）写真（縦４㎝×横３㎝）２枚
（2）O-NECUS 制度 渡日計画書【様式⑦】
（3）パスポートのコピー

9） 問い合わせ・出願書類提出先

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ保健学研究科担当
〒700-8558 日本国岡山県岡山市北区鹿田町２－５－１
TEL： +81-86-235-7984　　FAX： +81-86-235-7045
E-mail： ishiyaku-g-hoken@adm.okayama-u.ac.jp

１０）出願から渡日までの流れ



○環境生命科学研究科

1）日程（短期留学制度）

1 出願期間	１０月中旬～１１月３０日（必着）
2 インターネット面接	１２月上旬まで（願書出願後随時）
3 合格（受入許可）発表	１２月下旬～１月上旬
4 入学手続	２月中旬（４月入学） 又は ８月中旬（１０月入学）
5 岡山大学入学	４月又は１０月
6 渡日	４月又は１０月

2）募集人員

短期留学　　若干名

3）出願資格

O-NECUS 参加大学修士課程大学院生 又は 学部(5年)－修士(2年)連結コース在学生

4）出願手続

出願書類は，様式に合わせて中国語又は日本語及び英語で作成し，中国各大学の国際交流室に提出すること。

5）出願書類

1）O-NECUS 制度 入学願書　【様式①】

2）O-NECUS 制度 履歴書　【様式②】

3）O-NECUS 制度 在籍証明書　【様式③】

4）O-NECUS 制度 在籍大学指導教授 推薦書　【様式④】

5）O-NECUS 制度 研究計画書（日本語又は英語）【様式⑤】
（出願時に提出）

6）O-NECUS 制度 渡日計画書【様式⑦】

＊ 上記の外，出願書類に課す条件は次のとおり。

① 出願書類は日本語版の様式を使用し，日本語で作成すること。

② 学部及び大学院の成績証明書並びにその日本語訳を提出すること。ただし，大学院１年次生で，大学院の成績証明書を提出できない者は，不要とする。

③ 日本語能力試験Ｎ２以上の合格通知書を提出すること。なお原本を提出すること（希望者には後日返却する）。

④ 出願書類の提出前に，必ず受入希望教員と連絡を取っておくこと。

6） 選抜方法

出願書類による書類審査及びインターネット面接（日本語又は英語）を実施する。

7） 合格（受入許可）発表

岡山大学各研究科が E-mail により志願者及び在籍大学指導教授へ連絡し，後日，合格通知書（受入許可）を送付する。

8） 入学手続

４月入学の場合２月中旬までに，１０月入学の場合８月中旬までに以下の書類を中国各大学国際交流室へ提出すること。

（1）写真（縦４㎝×横３㎝）２枚

（2）O-NECUS 制度 渡日計画書【様式⑦】

（3）パスポートのコピー

9） 問い合わせ・出願書類提出先

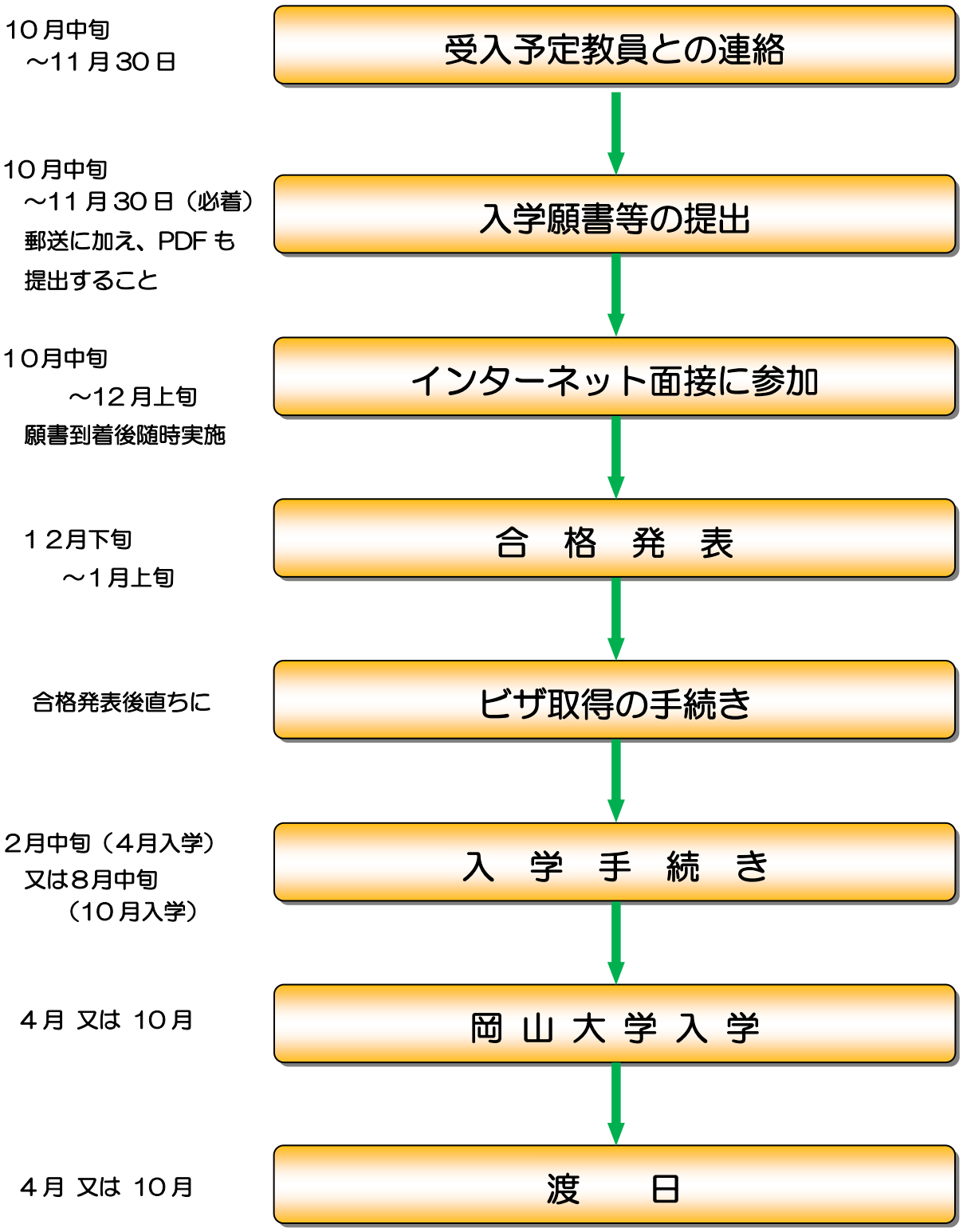
岡山大学自然系研究科等学務課大学院担当

〒700-8530 日本国岡山県岡山市北区津島中３－１－１

TEL： +81-86-251-8011 FAX： +81-86-251-8580

E-mail： agf8576@adm.okayama-u.ac.jp

１０）出願から渡日までの流れ



Program Information for "Okayama University-North East China Universities platform, Graduate Student Exchange Program" (O-NECUS) 2021-2022 Edition
Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Division of Medicine and Dentistry (Master's Course) OKAYAMA UNIVERSITY
2021 年 10 月入学 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（修士課程）O-NECUS 短期留学生 募集概要

O-NECUS program offers you an opportunity to study in our master's course **as a special auditor** for one year. Division of Medical and Dental Sciences at Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, OKAYAMA UNIVERSITY has been established on the basis of substantial tradition and achievement in medical education, technologies and researches. Indeed, the School of Medicine has the second longest history in Japan so its professors and doctors are renowned for their experiences. Moreover, the School of Dentistry is aggressively pursuing cutting edge dental science.

We accept the students who aspire to be creative and forefront researches.

After you complete this program and you wish to enroll at Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences (Doctoral Course), Okayama University, your tuition payment would be waived during you enroll at Okayama University. (Limited to 5 students)

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医歯科学専攻は，「日本で２番目に長い歴史を持ち，教授陣の層が厚い伝統ある医学部」，「先端的な歯科学研究を目指す歯学部」を母体とする修士課程です。医学・歯学研究は，近年の科学界において最も速い速度で進歩を遂げている分野です。１年間の留学期間を通じて，世界に通用する創造的研究，先端的研究を志す学生を募集します。

なお，このプログラムを修了した学生は，岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（博士課程）に入学した際の授業料が免除となります。（上限５人）

■Application Procedures and Guidelines / 学生募集に関すること

１．Member Universities of the O-NECUS Program / 対象の大学（国際交流協定を締結している O-NECUS 協定校）

Harbin Medical University, Jilin University, China Medical University, and Dalian Medical University

ハルピン医科大学，吉林大学，中国医科大学，大連医科大学

２．Number to be admitted / 募集人数

We will accept several students from the member universities of the O-NECUS Program. （Reference: 2020 O-NECUS Program: 2 students）

O-NECUS 協定校４校全体で若干人　（参考：2020 年 10 月入学者 2 人）

３．Scholarship / 奨学金

In principle, O-NECUS students are expected to live at their own expense in Japan. It is important that you should make a financial plan before arrive in Japan.

O-NECUS 短期留学生は，個人のお金で生活費をまかなってもらうことが原則です。渡日までに資金計画を立ててください。

４．Eligibility for Application / 出願資格

・Registered any of the member universities of the O-NECUS program during the program period (October 1, 2021 to September 30, 2022). If you are going to complete master's course at your university before September 30, 2022, you must extend your completion day after September 30.

・Certify Language proficiency requirement (English and Japanese) ：Refer to 6, Application Documents 8)
岡山大学での在籍希望期間（2021 年 10 月 1 日～2022 年 9 月 30 日）に O-NECUS 協定校の修士課程に在籍していること。(2021 年 9 月 30 日以前に在籍大学の修士課程を修了予定の人は，在籍期間を延長する必要があります)
「6 .出願書類（10）)」に記載している語学能力が必要。

5． Submission Due / 出願期限

Friday, December 18, 2020 at Okayama University
All applications must be submitted to **International Student Office at your university.**
They will send your applications to Okayama University before above deadline.
DO NOT send them on your own.
Only applications completed by the deadline will be reviewed for admission.
出願者は，出願書類を各大学の国際センターに提出し，2020 年 12 月 18 日（金）までに下記 10「連絡先」に郵送してもらってください。出願期限までに全ての書類がそろっている出願者のみ出願資格が認められます。出願者は，各自の責任において出願期限に間に合うように出願して下さい。
※質問がある場合は，各大学の国際センターを通じて問い合わせするようにしてください。
岡山大学に直接連絡をしないでください。
※Please contact **International Office at your university** if you have any questions.
DO NOT contact directly with the Graduate School Office at Okayama University for inquiry.

6． Application Documents / 出願書類

All documents must be written in English/ すべての出願書類は英語で記入してください。

1) Application Checklist and Submission Instructions 【Form①】
2) Application for O-NECUS Program【Form②】
3) O-NECUS Program Personal History Form【Form③】
4) Certificate of Student Registration issued by your university 【Official document】
5) Letter of Recommendation written by your professor with his/her signed【Form④】
DO NOT write the letter on your own.
6) Personal Statement of Research Planning Sheet【Form⑤】
7) Certificate of Health【Form⑥】
8) Certified copies of official test scores or transcripts
※You must submit at least one of the followings:
A) Test of English as a Foreign Language (TOEFL):
- Score of 500*/173**/61*** or higher
  * Paper based test ** Computer based test *** Internet based test (iBT)

B) Test of English for International Communication (TOEIC):
- Score of 590 or higher

C) International English Language Testing System (IELTS):
- Score of 5.5 or higher

D) Japanese Language Proficiency Test (JLPT)
- Grade N2 (2 in former score) or higher

※These are the criteria for language proficiency. If you have taken other examinations such as CET 6 or CET 4, you have to attach score report or certificate.

The interviewers will evaluate your language proficiency during interview exam. However, CET 6 or CET 4 is not qualified as a language proficiency in case you intend to apply for Japan Student Services Organization (JASSO) Scholarship.

9) E-mail exchange record between you and your intended supervisor at Okayama Univ.
※Before you apply to this program, applicants are requested to contact his/her prospective supervisor via E-mail with an attached research planning sheet. Make as much communication as you can with your intended supervisor. At the interview, interviewers will ask your research plan and what you aim at.
It will be evaluated as a part of entrance examination.
※E-mail subject: O-NECUS Application (○○ University, your name)
※Please attach a copy of E-mail exchanged records between you and your intended supervisor. The record should be included a statement that the supervisor agrees you to take an interview examination.
※Please contact **International Office at your university** with any questions or when you find difficulty in making contact with your intended supervisor.
DO NOT contact directly with the Graduate School Office at Okayama University for inquiry.

10) Copy of your passport (If you have)

1) 出願書類のチェックリストと出願の説明【様式①】
2) 入学願書【様式②】
3) O-NECUS プログラム　履歴書【様式③】
4) 現在在籍している大学の在籍証明書【大学が発行する公式なもの】
5) 在籍大学指導教授からの推薦書【様式④】
志願者本人で推薦書を記入しないでください。
6) 研究計画書【様式⑤】
7) 健康診断書【様式⑥】
8) 語学能力を証明する書類（下記に表示されているいずれかのコピー）
A) TOEFL・PBT(ITP 含む)の 500 点以上の成績通知書
TOEFL・CBT の 173 点以上の成績通知書
TOEFL・iBT の 61 点以上の成績通知書
B) TOEIC の 590 点以上の成績通知書
C) IELTS(overall score)の 5.5 以上の成績通知書
D) 日本語能力試験 N２(旧２級)以上の合格通知書
※ 上記の検定試験及びスコアが志願可能な基準ですが，これらに類する他の検定試験（CET 6 等）を受けている場合は，検定試験の成績通知書又は合格通知書提出してください。面接試験により語学能力を確認します。
しかし， CET6 等は JASSO 奨学金受給対象外の語学能力試験のため、奨学金の申請はできません。
9) 受入希望教員との E-mail 交信録【様式任意】
※出願前に，研究計画書を添付した電子メールによりしっかりと受入希望教員とコミュニケーションを取って下さい。面接実施の際、どのようなやり取りを行ったのか確認するとともに、評価の対象になります。
※E-mail 件名は「O-NECUS Application (○○ University, your name)」として下さい。

※受験可能な旨を記載してあるメールをプリントアウトしたものを添付すること。

※質問等ある場合は，各大学の国際センターを通じて問い合わせするようにしてください。岡山大学に直接連絡をしないでください。

※岡山大学の受入希望教員に「受験が可能かどうかの連絡をしたが，返信がない」場合も，各大学の国際センターに問い合わせをしてください。

10) パスポートのコピー (持っている方のみ)

7．Oral Examination / 面接試験

Date : Middle of March, 2021
Place : China Medical University
(Address: No.77 Puhe Road,Shenyang North New Area, Shenyang, Liaoning Province, P.R. China 110122)
Detail : China Medical University and Okayama University will inform to International Office at your university

日時：2021 年 3 月中旬
会場：中国医科大学（住所：110122 中国遼寧省沈阳市沈北新区蒲河路 77 号）
詳細は中国医科大学及び岡山大学から別途各大学の窓口へ連絡します。

8． Key Dates / 日程の概要

1．Application Deadline 出願期限	December 18, 2020 2020 年 12 月 18 日	
2．Oral Examination 面接試験（中国医科大学）	Middle of March, 2021 2021 年 3 月中旬	China Medical Univ.
3．Notification of Acceptance 合格発表	Middle of April, 2021 2021 年 4 月中旬	
4．Application procedure for visas ビザの申請手続きについて	End of May～early June, 2021 2021 年 5 月下旬~6 月上旬	
5．Arrival in Japan Enroll at Okayama Univ. 渡日，岡山大学入学	From the end of September, 2021 2021 年 9 月末	
6．Departure 離日	September, 2022 2022 年 9 月	

■Admitted Students / 入学するにあたって

Title/ position : Special Auditor
Enrolled Period : From October 1, 2021 to September 30, 2022
Tuition & Fees : Under the O-NECUS Program agreement, examination fees, enrollment fees, and tuition will NOT be charged.
Academic Program : Research activities at Okayama University as a special auditor, are credited.
岡山大学での身分 ：特別聴講学生
在籍可能期間 ：2021 年 10 月 1 日～2022 年 9 月 30 日
授業料等 ：国際交流協定により検定料，入学料，授業料はすべて不徴収

授業科目　　：岡山大学在籍中は所属先研究室にて研究活動をおこなうことにより，各教育研究分野で実施する授業科目の単位認定をおこなう。

■Available Departments /　受入可能教育研究分野

Refer to Departmental Information / 一覧表のとおり
http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/o-necus.html

■Accommodation / 宿舎

Living Expenses: Private Expense
Students can stay at a dormitory during the program term. The dormitory is designed for those who are singles. The singles mean that you come to Japan without spouse or other family members. If your spouse lives outside of Okayama Prefecture, you are permitted living; however, if he/she lives in Okayama Prefecture, you may not live in the dormitory.
For more information, please visit the following website.
http://www.okayama-u.ac.jp/user/ouic/english/interstudents/3-05dormitory_en.html（English）
http://www.okayama-u.ac.jp/user/ouic/japanese/interstudents/students_current/3-05house_jpn.html（Japanese）
滞在費：私費
宿舎：岡山大学が設置している外国人留学生宿舎に，プログラムが終了するまで滞在できます。この宿舎は独身者のみ入居可能です。独身者とは，単身で来日している者のことです。結婚していても配偶者が岡山県以外に在住の場合は入居可能ですが，岡山県内に在住の場合は入居不可です。詳細は上記の URL を参照して下さい。

９．Personal Information / 個人情報について

Personal information in the application materials submitted by applicants will be used by Okayama University for the purpose of selecting applicants. Furthermore, this information will be provided to the university where Oral Examination will be held for the purpose of arranging interview order, time and preparation.
提出された出願書類等及び記載されている個人情報は，入学者選抜に係る業務に使用します。
また，入学願書に記載された氏名，出身学校等の個人情報を面接時間調整と準備を目的として，面接会場大学へ提供する場合があります。

１０．Contact Information / 連絡先

Mailing Address:
Graduate School Office, Academic Affairs Section,
Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama University
2-5-1, Shikata-cho, Kita-ku, Okayama 700-8558, Japan

Email:kdf7986@adm.okayama-u.ac.jp

住所：
〒700-8558　日本国　岡山県岡山市北区鹿田町２丁目５番１号
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課教務グループ大学院担当

Ⅸ 教員組織と研究内容　　Department and Research Projects

○生体制御科学専攻　　Biophysiological Sciences

教育研究分野 及び 連絡先 Department, HP Address, E-mail	指導教授 Professor	研究内容	Research Projects	学系区分 Faculty
細胞組織学 Cytology and Histology TEL 086-235-7083 http://www.okayama-u.ac.jp/user/anatomy1/ hohuchi@okayama-u.ac.jp	教　授　大内　淑代 Professor OHUCHI, Hideyo	1．新型光受容器の細胞組織学的機能解析 2．神経網膜の発生分化と再生の分子機構の研究 3．　発生進化的アプローチによる再生の分子機構の解明 4．腫瘍関連遺伝子および疾患関連遺伝子の生物学的・発生学的役割の解明 5．破骨細胞分化と骨リモデリングの分子機構の解明	1. Cellular, immunohistochemical, and functional analysis of vertebrate novel photoreceptors 2. Studies on molecular mechanisms of neural retina development, differentiation and regeneration 3. Studies on molecular mechanisms of tissue regeneration via evo-devo approaches 4. Studies on biological and developmental functions of tumor-associated genes and disease-related genes 5. Studies on molecular mechanisms of osteoclast differentiation and bone remodeling	医学 Med.
人体構成学 Human Morphology TEL 086-235-7088 http://www.okayama-u.ac.jp/user/anatomy/hm/index.html aiji@okayama-u.ac.jp	教　授　大塚　愛二 Professor OHTSUKA, Aiji	1．人体の諸器官とくに血管系の類型的分析 2．脈管系の微細構造と分布様式 3．中枢神経系の細胞外基質，特にプロテオグリカン 4．グリコカリックスの微細形態と機能 5．基底膜の構造と機能：分子構成と発生 6．組織幹細胞の起源と実態 7．組織幹細胞の機能破綻と疾患	1. Analysis of blood microvascular architecture of human organs: a scanning electron microscopic study of corrosion casts 2. Analysis of fine structure and organization of vessels 3. ECM of central nervous system, a role of proteoglycan 4. Fine structure and function of glycocalyx 5. Structure and function of basement membrane：molecular structure and its roles in development 6. Developmental plasticity in mammalian ocular tissue 7. Molecular basis of tissue stem cells and cancer (stem) cells	医学 Med.
システム生理学 Cardiovascular Physiology TEL 086-235-7112 http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/phy2/index.htm knaruse@md.okayama-u.ac.jp	教　授　成瀬　恵治 Professor NARUSE, Keiji	1．メカニカルストレス受容・応答機構 2．メカノレセプターのクローニング・分子機構 3．機械受容チャネルのパッチクランプを用いた解析 4．心臓の機能とエネルギー解析 5．心不全の分子メカニズム 6．メカニカルストレスと再生医療（骨・軟骨・心筋・皮膚） 7．生殖補助医療（不妊治療） 8．医工学機器（平面パッチクランプ装置）の研究・開発 9．脂質膜・タンパク質の粗視化分子動力学シミュレーション	1. Mechanotransduction 2. Cloning and identification of Mechanoreceptor 3. Patch clamp of stretch-activated channel 4. Cardiac function and energy analysis 5. Molecular mechanism of heart failure 6. Regenerative Medicine (bone, chondrocytes, heart, skin) 7. Infertility 8. R&D of medical engineering devices (planar patch clamp device) 9. Coarse grained molecular dynamics simulation of lipid membranes and proteins	医学 Med.
分子医化学 Molecular Biology and Biochemistry TEL 086-235-7127 http://www.okayama-u-mbb.jp/ oohashi@cc.okayama-u.ac.jp	教　授　大橋　俊孝 Professor OOHASHI, Toshitaka	1．脳の神経情報伝達を制御するペリニューロナルマトリックス 2．骨・軟骨代謝学，骨・軟骨のメカノバイオロジー 3．基底膜の構築・遺伝子発現・器官形成と機能 4．血液脳関門とアストロサイト／血管内皮細胞／マトリックス構築 5．皮膚創傷治癒における細胞外マトリックス 6．がん微小環境におけるマトリックス分解酵素の果たす役割 7．骨，歯，口腔粘膜再生療法の開発 8．関節軟骨変性疾患のバイオイメージングと薬物標的化技術	1. Control of neural plasticity and conduction velocity by neural ECM 2. Bone and cartilage metabolism and mechanobiology of bone and articular cartilage 3. Function and expression of basement membranes in development and disease 4. Function of basement membranes, astrocytes, and endothelial cells in blood-brain barrier in the central nervous system 5. Extracellular matrix in the wound healing of skin. 6. Matrix metalloproteinase in the tumor microenvironment 7. Tissue engineering of bone, tooth and oral mucosa 8. Molecular bio-imaging of articular cartilage and molecular-targeting for diagnosis/therapy in osteoarthritis	医学 Med.

心臓血管外科学 Cardiovascular Surgery TEL 086-235-7359 http://okayama-u-cvs.jp/ shingok@md.okayama-u.ac.jp	教　授　笠原　真悟 Professor KASAHARA, Shingo	心臓部門 １．複雑心奇形の外科治療に関する研究 ２．新生児・乳児開心術に関する研究 ３．心筋保護に関する研究（特にチアノーゼ性心筋） ４．開心術時，大動脈手術時における臓器保護に関する研究 ５．Tissue engineering 法を用いた弁付導管，血管作製 ６．小児人工心臓の開発 ７．心筋再生治療の研究 血管部門 １．Diamond-like-carbon の医療応用に関する開発研究 ２．動脈硬化性疾患におけるHMGB-1の役割を解明する研究 ３．血管外科手術中の臓器保護（特に脊髄保護）に関する研究	Research for Cardiac Surgery 1. Research of surgical treatment of complex congenital heart disease 2. Research of neonatal and infantile open heart surgery 3. Research of myocardial protection for cyanotic myocaedium 4. Research of organ protection in major cardiovascular surgery 5. Research of heart and heart & lung transplantation 6. Development of valved conduit and vascular graft with tissue engineering method 7. Development of pediatric artificial heart 8. Cardiac stem cell therapy for heart failure Research for Vascular Surgery 1. Application of Diamond-like-carbon for Medical devices 2. Research on relationship between HMGB-1 and Atherosclerotic diseases 3. Research on organ protection during vascular surgery (Especially on protection of spinal cord)	医学 Med.
麻酔・蘇生学 Asesthesiology and Resuscitology TEL 086-235-7324 http://okadaimasui.com morima-h@md.okayama-u.ac.jp	教　授　森松　博史 Profrssor MORIMATSU, Hiroshi	１．多臓器不全の病態の解明と治療に関する研究 (1) 侵襲によるサイトカインの変動の解明 (2) 侵襲に対するヘムの役割の解明 (3) 臓器不全の予防と治療に関する分子生物学的研究 ２．疼痛の機序および治療に関する研究 ３．麻酔・集中治療・ペインクリニックに関する臨床研究	1. Study on elucidation of pathophysiology and therapy of multiple organ failure 1)Elucidation of cytokine fluctuation in response to invasion 2)Elucidation of functional role of heme against invasion 3)Molecular biological study on prevention and therapy of organ failure 2.Study on mechanisms and management of pain 3. Clinical Research relating to Anesthesiology, Intensive Care, and Pain Medicine	医学 Med.
組織機能修復学 Regenerative Science TEL 086-235-7407 http://www.okayama-u.ac.jp/user/syuufuku/index.html takarada@okayama-u.ac.jp	准教授　寶田　剛志 Associate Professor TAKARADA, Takeshi	１．間葉系幹細胞の個体レベルにおける細胞生物学的特徴づけ ２．ヒト多能性幹細胞(iPS細胞)からの間葉系幹/前駆細胞の誘導と、その臨床応用 ３．骨疾患、代謝性疾患、神経変性/精神疾患、がん、免疫異常における 間葉系幹細胞の機能解明	1. Biological characterization of mesenchymal stem cells in vivo, and its clinical application 2. Development of selection and isolation methods for mesenchymal stem/progenitors derived from human iPS cells 3. Pathophysiology of mesenchymal stem cells	医学 Med.
歯科薬理学 Dental Pharmacology TEL 086-235-6660 http://www.okayama-u.ac.jp/user/dyakuri/ k-oka@okayama-u.ac.jp	教　授　岡元　邦彰 Professor OKAMOTO, Kuniaki	１．破骨細胞形成および活性化におけるエンドソーム・リソソーム系の役割 ２．癌浸潤・転移におけるエンドソーム・リソソーム系の役割 ３．疼痛制御における神経伝達物質トランスポーターの発現および機能解析 ４．癌の進展・転移・抵抗性の問題解決のためのバイオマーカー探索と分子標的薬開発 ５．細胞の分化・運命・幹細胞性を規定する仕組みに関する研究 ６．ライブイメージングシステムを用いた細胞塊形成・運動・崩壊の制御法開発と応用	1. The role of endosome/lysosome system in osteoclastgenesis 2. The role of endosome/lysosome system in invasion and metastases of cancer 3. Investigation of expression and function of the neurotransmitter transporters in pain control 4. Exploratory research on novel biomarkers in cancer and development of molecular targeted drugs for problem solving of cancer pregression, metastasis and resistance 5. Reserach on mechanism by which cellular differentiation, fate and stemness are defined 6. Development and application of methods by which formation, movement and collapse of cellular spheroids are controlled by using live imaging system	歯学 Dent.
脳神経機構学 Medical Neurobiology TEL 086-235-7096 http://www.okayama-u.ac.jp/user/mnb/ asachan@cc.okayama-u.ac.jp	教　授　淺沼　幹人 Professor ASANUMA, Masato	１．神経外脳内環境を標的とした神経疾患に対する新規神経保護方策の開発 ２．グリア細胞の部位特異的プロファイルがもたらす脳内環境と神経保護 ３．食品中に溶出しうる内分泌攪乱物質の母胎への曝露が産児脳発達に及ぼす影響 ４．神経細胞分化に関わる超らせんDNA結合タンパク質の分子機能解析	1. Neuroprotection for neurological disorders targeted on non-neuronal brain environment 2. Brain environment and neuroprotection based on region-specific features of glial cells 3. Effects of exposure of dam to endocrine disruptor on neonatal brain development 4. Molecular analysis of supercoiled DNA binding proteins related to neuronal differentiation	医学 Med.

細胞生理学 Cellular Physiology TEL 086-235-7105 http://okayama-u-physiol1.jp/index.html kamiyaa@okayama-u.ac.jp	教　授　神谷　厚範 Professor KAMIYA, Atsunori	1．新しい自律神経科学（遺伝学的神経操作や生体イメージングを用いて新規現象を大発見） 2．神経系と他系（免疫系、循環系など）の連関による個体調節 3．神経系とがん（基礎研究から臨床実用を目指して） 4．神経系と免疫アレルギー疾患（基礎研究から臨床実用を目指して） 5．神経系と循環器疾患・エネルギー代謝疾患等（基礎研究から臨床実用を目指して） 6．２光子インビボ生体イメージング等による、新しい細胞生理（現象や機能）の発見	1. New Autonomic Neuroscience to Great Discovery (by Genetic Neuroengineering and In vivo Bioimaging) 2. Interaction between Neural and Other (Immune, Circulatory) Systems 3. Neural System and Cancer (from Basic Science to Clinical Application) 4. Neural System and immune/allergic diseases (from Basic Science to Clinical Application) 5. Neural System and cardiovascular/metabolic diseases (from Basic Science to Clinical Application) 6. Discovery of Novel Cellular Physiology by Two-Photon In Vivo Bioimaging	医学 Med.
生化学 Biochemistry TEL 086-235-7120 http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/biochem/index11.html kohji@md.okayama-u.ac.jp	教　授　竹居　孝二 Professor TAKEI, Kohji	1．メンブレンダイナミクス（生体膜の動態）の分子機構 　1）　細胞内膜輸送（エンドサイトーシス，エンドソームの分子選別）の機構 　2）　細胞骨格（アクチン，微小管）の制御機構 2．メンブレンダイナミクスと細胞機能，病態 　1）神経シナプス伝達におけるエンドサイトーシス 　2）神経突起形成におけるアクチン制御 　3）　がん細胞の走化浸潤におけるアクチン制御 　4）　がん細胞走化機能分子をターゲットとする阻害剤のスクリーニング 　5）　癌化シグナル伝達における細胞内膜輸送 　6）　精子成熟における食作用 　7）エイズウイルスの免疫回避機構と細胞内膜輸送 3．代謝ネットワークの構造と機能	1. Cancer cell invasion and cell migration and 2. Neuronal differentiation and neurite formation 3. Regulation of cytoskeletal dynamics (actin and tubulin) 4. Membrane traffic and membrane dynamics of the cell 5. Membrane traffic at Endosomes 6. Endosomal sorting and HIV virus infection	医学 Med.

脳神経内科学 Neurology TEL 086-235-7365 http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/shinkeinaika/index.htm abekabek@cc.okayama-u.ac.jp	教　授　阿部　康二 Professor ABE, Koji	１．脳卒中の臨床的基礎的研究 （1）脳梗塞の病態解明と治療法確立（臨床的研究） （2）脳梗塞の光イメージング（臨床的基礎的研究） （3）脳梗塞の分子イメージング（臨床的基礎的研究） （4）脳梗塞とメタボリック症候群の臨床的解析（臨床的研究） （5）脳梗塞とメタボリック症候群の基礎的関連研究（基礎的研究） （6）神経幹細胞を用いた脳梗塞の再生医療（基礎的研究） （7）iPS細胞を用いた脳梗塞の再生医療（基礎的研究） （8）ウイルスベクターを用いた脳梗塞の再生医療（基礎的研究） ２．認知症の臨床的基礎的研究 （1）アルツハイマー病の病態解明と治療法確立（臨床的研究） （2）認知症の神経心理学的研究（臨床的研究） （3）認知証の脳画像診断研究（臨床的研究） （4）アルツハイマー病の臨床工学的病態解析（臨床的基礎的研究） （5）アルツハイマー病モデルマウスを用いた病態解析と治療法開発（基礎的研究） （6）アルツハイマー病とメタボリック症候群の臨床的解析（臨床的研究） （7）アルツハイマー病とメタボリック症候群の基礎的関連研究（基礎的研究） （8）アルツハイマー病の新薬治療（臨床的研究） ３．神経変性疾患の臨床的基礎的研究 （1）パーキンソン病の臨床的基礎的研究（臨床的基礎的研究） （2）筋委縮性側索硬化症の臨床的基礎的研究（臨床的基礎的研究） （3）神経変性疾患の脳画像科学解析　（臨床的基礎的研究） （4）神経変性疾患の分子イメージング診断（基礎的研究） （5）神経変性疾患の再生医療開発　（臨床的基礎的研究） ４．生活習慣病・メタボリック症候群と神経内科疾患の臨床的基礎的研究 （1）生活習慣病・メタボリック症候群とアルツハイマー病（臨床的基礎的研究） （2）生活習慣病・メタボリック症候群と認知症（臨床的基礎的研究） （3）生活習慣病・メタボリック症候群のモデルマウス研究（基礎的研究	1. Gene and stem cell therapy for ischemic stroke, 2. Neuroproetction for ischemic stroke, 3. In vivo optical neuroimaging for neurological diseases, 4. In vivo nano-particle therapy for stroke, 5. gene and stem cell therapy for neurodegenerative diseases, 6. Alzheimer's diseases and metabolic syndrome with mouse model, 7. Clinical neuroimaging with MRI, MEG, PET and SPECT, 8. Clinical study for neuroimmunological diseases, 9. iPS cell transplantation for stroke model, 10.Clinical analysis of Alzheimer disease with new drug	医学 Med.

○病態制御科学専攻　　Biopathological Sciences

教育研究分野 及び 連絡先 Department, HP Address, E-mail	指導教授 Professor	研究内容	Research Projects	学系区分 Faculty
病理学（免疫病理） Pathology and Experimental Medicine TEL 086-235-7141 http://www.okayama-u.ac.jp/user/byouri/pathology-1/HOME.html amatsu@md.okayama-u.ac.jp	教　授　松川　昭博 Professor MATSUKAWA, Akihiro	1．炎症・炎症性疾患の分子基盤解明 2．炎症とサイトカン情報伝達 3．炎症とがん 4．敗血症の病態解明 5．サイトカイン・ケモカインと疾患 6．エクソソームとmiRNAによるがんの制御 7．鉄制御を用いた新しいがん幹治療法の開発 8．革新的医療材料・医療機器の開発 9．AIを活用した医師支援機器の開発	1. Molecular mechanism of Inflammation and Inflammatory diseases 2. Cytokine signal transduction in inflammation 3. Inflammation and cancer 4. Molecular analysis of sepsis and septic shock 5. Role of cytokines and chemokines in health and disease 6. Cancer regulation by exosomes and miRNA 7. New strategy for cancer stem cell treatment focused on iron regulation 8. Development of innovative medical materials and devices 9. Development of artificial intelligence supported medical devices	医学 Med.
細胞化学 Cell Chemistry TEL 086-235-7402 http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/cellchem/index.html (http://www.crc.okayama-u.ac.jp/) eijimatu@md.okayama-u.ac.jp	（教　授）　（松浦　栄次） （中性子医療研究センター） Professor MATSUURA, Eiji	1．動脈硬化，抗リン脂質抗体症候群の病態生化学の研究 2．分子イメージングによる動脈硬化・がんの新規標的医療技術の開発研究 3．ポルフィリンによるがん治療法の分子機構の解析 4．生体におけるミトコンドリア新生のメカニズムと生理的意義	1. Pathological biochemical study of atherosclerosis and antiphospholipid syndrome 2. Development of the new target medical technique for atherosclerosis and cancer using molecular imaging 3. Molecular mechanism of porphyrin-mediated cancer therapy 4. The mechanism of mitochondrial biogenesis and physiological significance	医学 Med.

腎・免疫・内分泌代謝内科学 Nephrology, Rheumatology, Endocrinology and Metabolism TEL 086-235-7232 http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/daisan/index.html sannai@cc.okayama-u.ac.jp	教　授　和田　淳 Professor WADA, Jun	１．肥満症、メタボリックシンドローム、糖尿病、糖尿病血管合併症の発症機構の解明と新しい治療法の開発 ２．腎炎・ネフローゼ症候群の成因解明と新規治療の開発 ３．腎再生へむけて：ネフロン構造再構築及びそれに関する幹細胞の研究と応用 ４．尿中糖鎖プロファイリングによる腎臓病新規バイオマーカーの同定 ５．血管新生関連因子調節を介した腎障害進展制御治療法の開発 ６．自己免疫疾患の成立・進展機構の解明(関節リウマチ・全身性エリテマトーデスなど) ７．血管作動物質による血圧調節機構及び高血圧の発症・進展機構の解明 ８．骨形成蛋白(BMP)による内分泌調節機構の解明と臨床応用 ９．動脈硬化の成因の解明と治療法の開発 １０．大動脈瘤の成因及び進展機序の解明と治療的試み １１．腎不全合併症の病態解明と新規バイオマーカーの開発 １２．腹膜透析に関する再生療法と新たな腹膜機能評価法の開発 １３．電子カルテ情報を用いたリウマチ・膠原病患者データベースシステムの開発 １４．多変量解析を用いたリウマチ・膠原病疾患活動性予測モデルの探索 １５．自然免疫・サイトカイン産生・炎症の制御機構の解明 １６．糖尿病・骨粗鬆症発症に関わる骨芽細胞機能の検討 １７．骨代謝・胎生期骨発生を制御する新規メカニズムの解明 １８．敗血症の病態形成メカニズム解明と新規治療法開発 １９．癌浸潤を制御する新規メカニズムの解明 ２０．人工知能（AI）を使用した腎疾患治療・診断法の開発	1. Investigation of the pathogenesis of obsity, metabolic syndrome, diabetes and its vascular complications and development of new therapeutic strategies 2. Elucidation of the pathogenesis of IgA nephropathy and nephrotic syndrome and development of their novel therapy 3. Kidney regeneration and its translational research: Investigation of the mechanism between renal stem/progenitor cell and development/regeneration 4. Identification of novel biomarkers for kidney diaseases by urinary glycan profiling by lectin array 5 Development of therapeutics to suppress the progression of renal injuries via regulating angiogenesis-associated factors 6. Exploration for the pathogenesis of autoimmune diseases (Rheumatoid arthritis, Systemic lupus erythematosus etc.) 7. Investigation of the developmental mechanism of hypertension and hypertensive organ damages induced by vasoactive factors 8. Exploration of the mechanism of endocrine regulation by BMPs and its clinical application 9. Investigation of the mechanism of atherosclerosis and approach to a new therapeutic strategy 10. Exploration of the mechanism of aortic aneurysm and establishment of a new therapeutic strategy 11. Elucidation of the mechanism of complication of renal failure and identification of its novel biomarkers 12. Peritoneal regeneration for peritoneal dialysis: Exploitation cell therapy to protect peritoneal sclerosis on peritoneal dialysis patients and clinical application of new diagnostic methods of peritoneal functions 13. Development of database for connective tissue diseases using electronic medical records 14. Exploitation of prognostic model for activity of connective tissue diseases using multivariate analysis. 15. Investigation of the molecular machanism of innate immunity, cytokine production and inflammation. 16. Investigation of the role of osteoblastic protein for diabetes and osteoporosis. 17. Investigation of the molecular mechanisms of bone biology and embryonic bone development. 18. Investigation of the pathogenesis of septic shock.	医学 Med.
小児医科学 Pediatrics TEL 086-235-7247 http://www.okayama-u.ac.jp/user/pedhome/index.html tsukah-h@cc.okayama-u.ac.jp	教　授　塚原　宏一 Professor TSUKAHARA,Hirokazu	１．中枢神経ウイルス感染症の宿主側発症因子および病態解析と治療法の確立 ２．小児炎症疾患における病態解析とそれに基づく新規治療法開発の試み ３．先天性心疾患の非観血的治療法と再生医学療法の確立 ４．小児がんの遺伝子診断と造血幹細胞移植に関する研究 ５．骨系統疾患の遺伝子解析に基く新しい治療法の確立 ６．腎尿路疾患における病態解析とれに基づく新規治療法開発の試み ７．思春期発来機構の解明と成長における成長因子の役割 ８．小児期心身症（特に不登校，神経性食欲不振症）の誘因の評価と新しい治療法の確立 ９．ハイリスク新生児の管理向上と長期予後改善に関する研究 １０．周産期における酸化ストレスの病態に関する研究	1. Viral encephalitis: biological responses, pathophysiological analysis, therapeutic strategies 2. Inflammatory disorders: pathophysiological analysis, therapeutic strategies 3. Congenital cardiac defects: non-operative interventions, regenerative medicine 4. Pediatric cancer: genetic analysis, hematopoietic stem cell implantation 5. Metabolic bone disorders: genetic analysis, therapeutic strategies 6. Renal and urinary tract disorders: pathophysiological analysis, therapeutic strategies 7. Adolescent medicine: mechanism of puberty, various growth factors 8. Psychosomatic medicine: school non-attendance, anorexia nervosa, integrated strategies 9. High-risk infants: critical care, management for better outcome 10. Perinatal medicine: oxidative stress related disorders, therapeutic strategies	医学 Med.

皮膚科学 Dermatology TEL 086-235-7282 http://www.okayama-hihuka.jp/ info@okayama-hihuka.jp	教　授　森実　真 Professor MORIZANE, Shin	１．皮膚における免疫現象の解析 ２．ヘルペスウイルス関連皮膚疾患の病態解明 ３．表皮ケラチノサイトのセリンプロテアーゼ活性の解析 ４．自己免疫性皮膚疾患の病態解明 ５．皮膚リンパ腫の病態解明 ６．皮膚細菌感染症と抗菌ペプチド	1. Immune reactions in the skin 2. Herpesvirus-associated skin diseases 3. Serine protease activity in epidermal keratinocytes 4. Autoimmune skin diseases 5. Cutaneous lymphomas 6. Cutaneous bacterial infections and antimicrobial peptides	医学 Med.
泌尿器病態学 Urology TEL 086-235-7284 http://www.uro.jp/okayama/ uro2@md.okayama-u.ac.jp	教　授　那須　保友 Professor NASU, Yasutomo	１．前立腺癌・腎癌に対する遺伝子・細胞治療の基礎的・臨床的研究 ２．尿路上皮癌に対する標的医療の開発，研究 ３．尿路癌における抗癌剤薬剤耐性に関する研究 ４．アニマルモデルを用いた低侵襲治療の開発研究 ５．iPS細胞を用いた尿道括約筋機能再生のための基盤的研究 ６．超音波カラードプラー法を用いたクリトリス血流の評価：骨盤手術による影響 ７．女性泌尿器科疾患患者における性機能調査 ８．BPH，　OAB患者における新しいバイオマーカーとしての尿中NGFに関する研究 ９．性ホルモン投与による性同一性障害患者の身体的生化学的変化の臨床研究 １０.性機能に関する脳機能局在の解析 １１.性ホルモンの代謝機能への影響に関する臨床的研究 １２．腎移植時の虚血再潅流障害の研究 １３．難治性尿路性器感染症の分子イメージングによる解析と薬剤投与法の解析 １４．薬剤耐性菌による尿路バイオフィルム感染症に対する治療法の確立 １５．尿路性器感染症における薬剤耐性菌の遺伝子解析と予防・治療法に関する研究 １６．性感染症の原因微生物の探索研究と疫学調査	1. Gene and cell therapy for prostate cancer and renal cancer 2. Developmet of targeted therapy for urothelial carcinoma 3. Analysis of anti-cancer drug resistance in urological cancer 4. Clinical development of minimum invasive therapy using animal model 5. Tissue engineering using iPS in the treatmne of urologic dysfunction 6. Evaluationf of clitorial blood flow changes after female pelvic surgery 7. Survey of sexual function in patients with pelvic organ prolapse and overactive bladder 8. Analysis of urinary NGF level in patients with BPH, CP/CPPS, and OAB 9.　Hormonal therapy for Gender Identity Disorder (GID) 10.　Brain functional localizaion related to sexual function 11.Sex hormone & Metabolism 12. Ischemia reperfusion injury in kidney transplant 13. Molecular Imaging for Intractable Urinary Tract Infection 14. Biofilms, Urinary Tract Infections and Antimicrobial Agents 15. Analysis of Drug-resistant Pathogens in Genitorinary Tract Infection 16. Sexually Transmitted Infection	医学 Med.
産科・婦人科学 Obstetrics and Gynecology TEL 086-235-7317 http://www.okayama-u-obgyn.jp/ masuyama@cc.okayama-u.ac.jp	教　授　増山　寿 Professor MASUYAMA, Hisashi	１．妊娠糖尿病と妊娠高血圧症候群の病態解析と次世代への影響 ２．出生前診断 ３．核内受容体の分子内分泌学的検討−特に周産期，悪性腫瘍− ４．婦人科悪性腫瘍の遺伝子解析 ５．婦人科悪性腫瘍患者のQOLに関する研究 ６．不育症・習慣流産に関する研究 ７．子宮内膜症・子宮腺筋症に関する研究 ８．多嚢胞性卵巣症候群に関する研究 ９．女性悪性腫瘍患者の妊孕能温存に関する研究 10．月経前症候群に関する研究 11．性同一性障害に関する研究	1. Gestational diabetes mellitus and preeclampsia and those effect on next generation 2. Prenatal diagnosis 3. Nuclear receptors in perinatal medicine and oncology 4. Gene analyses of gynecological malignacies 5 Quality of life of　gynecological malignacy patients 6. Recurrent pregnancy loss (RPL) 7. Endometriosis and adenomyosis 8. Polycystic ovary syndrome (PCOS) 9 Oncofertility / Fertility preservation 10. Premenstrual syndrome (PMS) 11. Gender identity disorder (GID)	医学 Med.
口腔病理学 Oral Pathology and Medicine TEL 086-235-6651 http://www.okayama-u.ac.jp/user/oralpath/index.html jin@md.okayama-u.ac.jp	教　授　長塚　仁 Professor NAGATSUKA, Hitoshi	１．口腔癌における癌間質と腫瘍微小環境の研究 ２．歯原性腫瘍の病理発生・病態機能解明に関する研究 ３．頭頸部腫瘍の外科病理と免疫組織化学的，分子病理学的研究 ４．歯牙・骨組織再生に関する分子細胞学的研究 ５．骨髄由来細胞の細胞分化および機能に関する研究	1. Study of cancer stroma and tumor microenvironment in oral cancer. 2. Molecular pathology of odontogenic tumors. 3. Surgical pathology, immunohistochemical and molecular analyses　in head and neck tumor. 4. Molecular and cell biological study on bone and tooth regeneration. 5. Study on cell differentiation and function of bone marrow-derived cells.	歯学 Dent.

歯周病態学 Periodontal Science TEL 086-235-6675 http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~perio/bind2/ stakashi@okayama-u.ac.jp	教　授　高柴　正悟 Professor TAKASHIBA, Shogo	１．歯周・歯内疾患の病因に関する細菌学的，免疫学的及び分子細胞生物学的な基礎及び臨床研究 ２．歯周病の発症前診断と遺伝子診断の研究 ３．歯髄保護と歯周組織再生の研究 ４．感染制御，免疫制御および組織再生に関わる局所的な遺伝子・サイトカイン・細胞治療の研究 ５．局所慢性炎症の全身への影響に関する研究（ペリオドンタルメディシン研究）	1. Microbiological, immunological, and molecular and cellular biological research on pathogenesis of periodontal disease and endodontic disease 2. Presymptomatic and genetic diagnosis for periodontal disease 3. Dental pulp protection and regeneration of periodontal tissue 4. Local gene therapy, cytokine therapy, and cell therapy for infection control, immunomodulation, tissue regeneration 5. Periodontal medicine; Systemic effects of local chronic inflammation	歯学 Dent.
病理学（腫瘍病理） Pathology and Oncology TEL 086-235-7149 http://www.okayama-u.ac.jp/user/path/index.html yoshino@md.okayama-u.ac.jp	教　授　吉野　正 Professor YOSHINO, Tadashi	１．悪性リンパ腫の臨床病理 ２．IgG4関連疾患 ３．濾胞性リンパ腫，特に節外性病変の研究 ４．MALTリンパ腫の発生病理 ５．成人T細胞性白血球／リンパ腫の分子病理	1. Clinicopatholgy of malignant lymphomas 2. Pathology of the IgG4-related diseases 3. Follicular lymphomas of the nodal and extranodal ones. 4. Pathogenesis of the MALT lymphomas 5. Molecular pathology of ATLL.	医学 Med.
免疫学 Immunology TEL 086-235-7187 http://www.okayama-u.ac.jp/user/immuno/ udono@cc.okayama-u.ac.jp	教　授　鵜殿　平一郎 Professor UDONO, Heiichiro	１．免疫代謝研究 ２．抗腫瘍免疫応答の細胞性機構 ３．腫瘍微小環境における免疫抑制機構の研究 ４．樹状細胞、マクロファージの抗原提示機構の研究 ５．免疫疲弊の解除研究と新規がん免疫療法の開発	1. Disection of Immunity and Metabolism 2. Effector mechanism of anti-cancer immunity 3. Analysis of Immune-evasion mechanism in tumor microenvironment 4. Molecular mechanism of antigen processing and presentation by MHC molecules 5. Reversion of exhausted T cells in tumor microenvironment and development of　cancer immunotherapy	医学 Med.
呼吸器・乳腺内分泌外科学 General Thoracic Surgery and Breast and Endocrinological Surgery TEL 086-235-7262 http://www.nigeka-okayama-u.jp/ toyooka@md.okayama-u.ac.jp	教　授　豊岡　伸一 Professor TOYOOKA, Shinichi	１．外科腫瘍学 ２．肺癌手術 ３．肺移植 ４．乳癌内分泌療法 ５．肺癌の遺伝子異常 ６．乳癌化学療法・分子標的治療 ７．胸腔鏡手術 ８．　呼吸器外科における再生医療	1. Thoracic surgical oncology 2. Surgery for lung cancer 3. Lung transplantation 4. Endocrinological therapy for breast cancer 5. Gene investigation in lung cancer 6. Chemotherapy and molecular targeted therpy for breast cancer 7. Video-assisted thoracic surgery 8.　Regenerative medicine in thoracic surgery	医学 Med.
血液・腫瘍・呼吸器内科学 Hematology, Oncology and Respiratory Medicine TEL 086-235-7224 http://www.okayama-u.ac.jp/user/ninai/ yosmaeda@md.okayama-u.ac.jp	教　授　前田　嘉信 Professor MAEDA, Yoshinobu	１．造血幹細胞移植の基礎と臨床：造血幹細胞とその産生，動員の調節因子の究明．同種造血幹細胞移植後の移植片対宿主病（GVHD）のメカニズムの解明 ２．制御性T細胞恒常性を標的とした低用量IL-2によるGVHD治療法の開発 ３．肺癌に対する分子標的療法と化学療法の基礎と臨床：抗癌剤耐性機序の分子生物学的解明とその克服 ４．肺癌発癌機構の解明と化学予防 ５．移植肺を利用した特発性間質性肺炎の次世代シークエンサーによる分子生物学的解析 ６．COPDおよび喘息の病態解明と、治療薬が効果を及ぼすメカニズムの解明 ７．間質性肺疾患における線維化病態の解明：線維化に関する因子の分子生物学的研究 ８．骨髄微小環境による造血制御機構の解析 ９．リンパ系腫瘍の網羅的遺伝子解析とその臨床応用	1. Clinical and experimental hematopoietic stem cell transplantation: biology of hematopoietic stem cells, mechanisms of stem cell mobilization, and mechanisms of graft versus host disease (GVHD) using mouse model or human samples 2. Low-dose interleukin-2 administration for patients with chronic GVHD 3. Mechanisms of the resistance to epidermal growth factor receptor-tyrosine kinase inhibitors (EGFR-TKI) for lung cancer with activating EGFR mutations 4. Carcinogenesis and chemoprevention in lung cancer 5. Molecular biological analysis in　idiopathic interstitial pneumonitis 6. Mechanisms underlying the disease development of bronchial asthma and COPD, and the effects of several molecules for suppressing these diseases using murine models and human samples 7. Mechanisms of fibrosis in interstitial lung disease 8. Analysis of the mechanism of the regulation of hematopoiesis by bone marrow microenvironment 9. Identification of molecular pathogenesis and genomics related to clinical outcome in lymphoid cancers	医学 Med.

放射線医学 Radiology TEL 086-235-7313 http://www.ok-radiology.jp/ radiol@cc.okayama-u.ac.jp	教　授　金澤　右 Professor KANAZAWA, Susumu	１．放射線治療の臨床疫学的研究 ２．ＭＲＩ温度モニター下の温熱治療の研究 ３．核医学的手法による腫瘍評価法の研究，特にPET/CTについて ４．Radioisotopeによる局所肝機能評価とその治療応用に関する研究 ５．ＣＴ・MRIを用いた新しい撮像法及び診断法の研究 ６．肝静脈一時閉塞における肝血行動態の研究 ７．画像ガイド下ラジオ波治療の基礎的・臨床的研究 ８．ロボットIVRの開発	1. Clinical epidemiology of radiation therapy 2. Hyperthermia under temperature monitoring with MRI 3. Tumor evaluation using the method of nuclear medicine, especially with PET/CT 4. Evaluation and clinical application of regional liver function with radioisotope 5. Novel imaging and diagnostic techniques with CT and MRI 6. Hepatic hemodynamics during temporary occlusion of a hepatic vein 7. Basic and clinical research of image-guided radiofrequency ablation therapy 8.Robotic interventional radiology	医学 Med.
消化器外科学 Gastroenterological Surgery TEL 086-235-7255 http://www.ges-okayama-u.com/ toshi_f@md.okayama-u.ac.jp	教　授　藤原　俊義 Professor FUJIWARA, Toshiyoshi	１．がんの遺伝子治療，分子標的治療、免疫療法、集学的治療 ２．がんの微小環境（がん関連線維芽細胞など）を標的とする治療研究 ３．がんの分子イメージング・螢光イメージング ４．外科手術ナビゲーション・システムの開発 ５．消化器癌の遺伝子診断・治療関連バイオマーカーの探索 ６．消化器領域の低侵襲治療（鏡視下手術，ロボット手術）の研究 ７．高度肥満症に対する外科治療の研究 ８．化学療法の臨床研究・臨床試験 ９．生体・脳死肝移植の臨床研究 １０．糖尿病に対する膵島移植の臨床研究 １１．肝・膵の再生医学研究	1. Gene therapy, molecular targeted therapy, immunotherapy, and multidisciplinary therapy for cancer 2. Investigation of novel target therapy for cancer microenvironment (cancer-associated fibroblasts) 3. Molecular and fluorescent imaging for cancer 4. Development of surgical navigation system 5. Genetic profiling and identification of predictive biomarkers in gastrointestinal neoplasm 6. Minimally invasive therapy (MIT) (laparoscopic surgery, robotic surgery) for gastrointestinal disease 7. Bariatric surgery for advanced obesity 8. Clinical research and trials of chemotherapy 9. Deceased and living donor liver transplantation 10. Pancreas islet cell transplantation for diabetes 11. Regenerative medicine for liver and pancreas	医学 Med.
臨床遺伝子医療学 Clinical Genomic Medicine TEL 086-235-7436 http://cgm-okayama-u.jp hir-aki45@okayama-u.ac.jp	教　授　平沢　晃 Professor HIRASAWA, Akira	1. がんゲノム医学・がんゲノム医療とデータシェアリング; 網羅的遺伝子解析技術を用いた臓器横断的発癌機序の解明 2. 遺伝性腫瘍とデータシェアリング; 網羅的遺伝子解析技術を用いた遺伝性腫瘍の新規関連遺伝子の探索 3. 遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)のゲノム疫学的研究; バイオバンクシステムを用いた遺伝性乳がん卵巣がん症候群の発症リスクの探索 4. 卵巣がん発癌モデルの開発と治療抵抗性機序の探索 5. 社会のニーズに応えるためのゲノム医学研究・臨床試験プロセスの患者・市民参画(PPI)の社会実用化のための実践的研究	1. Translational cancer genome research and data-sharing with comprehensive genomic approach to elucidate the involved mechanism for carcinogenesis and cancer development 2. Translational investigation for hereditary malignancy with comprehensive genomic approach and data-sharing 3. Epidemiological genome research linked with biorepository system for the analysis of risk factors of hereditary breast/ovarian cancer (HBOC) syndrome 4. Establishing gene-specific *in vivo* model and investigation of refractory mechanism of ovarian cancer 5. Practical ethical research for patient and public involvement (PPI) in basic and clinical genome research	医学 Med.
口腔顎顔面外科学 Oral and Maxillofacial Surgery TEL 086-235-6700 http://okomfsweb.ccsv.okayama-u.ac.jp/index.php aksasaki@md.okayama-u.ac.jp	教　授　佐々木　朗 Professor SASAKI, Akira	１．口腔腫瘍に関する基礎的，臨床的研究 ２．癌関連骨病変の制御に関する研究 ３．口腔癌の浸潤・転移に関する研究 ４．癌化学療法の薬剤耐性機構に関する研究 ５．顎変形症患者の顔貌の形態計測学的分析およびその治療法に関する研究 ６．骨・軟骨の形成機構ならびに疾患の分子メカニズムに関する研究	1.Clinical and basic research of oral tumor 2.Development of the treatment for cancer induced bone disease 3.The mechanism of invasion and metastasis of oral cancer 4.Analysis of anti-cancer drug resistant mechanism 5.Study of treatment of Dentofacial Deformity 6.Study of metabolism of chondrocyte	歯学 Dent.

歯科放射線学 Oral and Maxillofacial Radiology TEL 086-235-6705 https://www.okayama-u.ac.jp/user/hospital/index156.html asaumi@md.okayama-u.ac.jp	教　授　浅海　淳一 Professor ASAUMI, Jun-ichi	１．口腔癌の保存療法に関する研究 ２．口腔病変のMRI拡散強調画像に関する研究 ３．顎口腔領域病変のダイナミックMRIによる質的診断能に関する研究 ４．歯科用小型MRIの開発に関する基礎的研究 ５．口腔癌における創薬の開発 ６．分子イメージング ７．法歯学に関する研究	1. Research on conservative therapy of oral cancer 2. Research on MRI diffusion weighted image of oral lesion 3. Research on qualitative diagnosis ability by dynamic contrast enhanced MRI of Oral and maxillofacial region 4. Study on dental MRI development 5. Development of drug discovery in oral cancer 6. Molecular imaging in oral cancer 7. Research for the forensic dentistry	歯学 Dent.

○機能再生・再建科学専攻　　Science of Functional Recovery and Reconstruction

教育研究分野 及び 連絡先 Department, HP Address, E-mail	指導教授 Professor	研究内容	Research Projects	学系区分 Faculty
細胞生物学 Cell Biology TEL 086-235-7394 http://www.okayama-u.ac.jp/user/cellbiol/ masa-s@md.okayama-u.ac.jp	教授　阪口　政清 Professor SAKAGUCHI, Masakiyo	1．炎症性がん進展の分子機構解明とそれに基づく分子標的治療法の開発 2．がん幹細胞単離法の確立と単離がん幹細胞の特性解析 3．　がん遺伝子治療への適用と医療用組み換えタンパク質産生の高効率化を目指した哺乳細胞用超高効率遺伝子発現ベクターの開発 4．細胞の生死を制御するミトコンドリアの機能恒常性維持、分解、新生の分子機構の解析とそれに基づく神経変性疾患の発症、進展機序の理解 5．神経変性疾患、がん進展の制御を目指した細胞種および細胞内小器官特異的治療用タンパク質導入法の開発	1. Inflammation and cancer 2. Cancer stem cells 3. Super gene expression 4. Homeostasis, degradation, and regeneration of mitochondria 5. Intracellular delivery of therapeutic proteins	医学 Med.
整形外科学 Orthopaedic Surgery TEL 086-235-7270 https://www.okayama-ortho.jp/ orthsurg@md.okayama-u.ac.jp	教　授　尾﨑　敏文 Professor OZAKI, Toshifumi	1．骨軟部腫瘍の発生メカニズムと集学的治療 2．関節疾患の病態と治療に関する研究 （1）関節リウマチ，変形性関節症の病態解析 （2）関節疾患の新しい外科的治療法の開発 3．脊椎及び脊髄疾患の発生メカニズムと外科的治療 4．運動器再生の研究 5．小児整形外科疾患の治療体系の確立 6．スポーツ外傷の予防と治療 7．筋・神経疾患の電気生理学的研究と治療法の開発 8．骨折癒合の研究と治療法の開発 9．運動器生体材料の開発	1. Treatment of Bone and Soft Tissue Tumor 2. Study and Treatment of Joint Disorders 3. Study and Treatment of Spinal Disorders 4. Regeneration of Musculoskeletal System 5. Establishment of Treatment of Pediatric Disorders 6. Treatment of Sports Injuries 7. Development of New Method of Fracture Healing 8. Electric Physiological Analysis of Musculoskeletal Disorders 9. Development of Biomaterials for Musculoskeletal System	医学 Med.
形成再建外科学 Plastic and Reconstructive Surgery TEL 086-235-7214 https://www.prsokayama.com/ ykimata@cc.okayama-u.ac.jp	教　授　木股　敬裕 Professor KIMATA, Yoshihiro	1．血管付き組織移植 2．リンパ浮腫の発生機序と治療法 3．頭頚部癌の再建 4．四肢の再建 5．性同一性障害に対する外科的治療（生殖器移植） 6．自己集合性ペプチドハイドロゲル	1. Vascularized tissue transplantation 2. Lymphedema treatment and mechanism 3. Head and neck cancer reconstruction 4. Limb reconstruction 5. Gender identity disorder surgical treatments (Transplantation of genital organs) 6. Self-assembling peptide hydrogel	医学 Med.

口腔生化学 Biochemistry and Molecular Dentistry TEL 086-235-6645 http://www.okayama-u.ac.jp/user/seika/index.html kubota1@md.okayama-u.ac.jp	教　授　久保田　聡 Professor KUBOTA, Satoshi	1．硬組織（骨・軟骨・歯）の形成・維持・吸収機構および疾患に関する生化学的，分子細胞生物学的研究 2．硬組織の再生医療に向けての基礎研究 3．CCNファミリー遺伝子・タンパク質に関する包括的研究 4．細胞分化に伴う統合的遺伝子発現制御機構の研究 5．口腔組織における発癌機構に関する研究	1. Biochemistry and Molecular and Cellular Biology of Calcified-Tissues 2. Basic Research toward Regenerative Medicine of Calcified Tissues 3. Comprehensive Studies on CCN Family of Genes and Proteins 4. Investigation on Integrated Gene Regularoty System along Cytodifferentiation 5. Carcinogenesis in Oral Tissues	歯学 Dent.
口腔形態学 Oral Morphology TEL 086-235-6630 https://hiro-okamura.wixsite.com/lab-oralmorphology hiro-okamura@okayama-u.ac.jp	教　授　岡村　裕彦 Professor OKAMURA, Hirohiko	1．骨形成・吸収機構に関する分子・細胞・個体レベルの包括的研究 2．歯周組織の細胞と口腔内細菌の新たな免疫学的コミニュケーション 3．メカニカルストレスと骨組織動態に関する細胞生物学的研究 4．メラトニンの骨作用機構の解明 5．口腔粘膜上皮における細胞接着装置の機能に関する細胞生物学的研究	1. Cell biology of bone formation and resorption 2. Cell to Cell communications between periodontal cells and oral microorganisms 3. Cell biology of mechanical stress induced bone formation 4. Mechanisms of melatonin effects on bone 5. Cell biology of intercellular junctions in oral mucosae	歯学 Dent.
生体材料学 Biomaterials TEL 086-235-6665 http://www.okayama-u.ac.jp/user/biomat/ tmatsu@md.okayama-u.ac.jp	教　授　松本　卓也 Professor MATSUMOTO, Takuya	1．生体組織と生体材料との界面制御 2．生体組織接着材料の分子設計と開発 3．組織再生制御 4．生体材料を基盤とした新しい生命科学研究用ツールの開発 5．歯科材料，生体材料の物性評価と臨床応用	1. Regulation of material/biological tissue interface 2. Design and development of new tissue adhesive 3. Regulation of biological tissue regeneration 4. Development of material-based tools for life science research 5. Biomaterial characteristics and clinical application	歯学 Dent.
歯科保存修復学 Operative Dentistry TEL 086-235-6670 http://www.okayama-u.ac.jp/user/hos/mushibaka.html yoshiyam@md.okayama-u.ac.jp	教　授　吉山　昌宏 Professor YOSHIYAMA, Masahiro	1．象牙質再生療法の開発に関する研究 2．接着性修復材による保存修復法に関する研究 3．審美修復法の開発，確立と臨床応用に関する研究 4．齲蝕象牙質の細菌学的，組織学的研究 5．歯科修復材料への歯質強化作用及び抗菌性の付与に関する研究 6．OCTの保存修復への応用	1. Development of Dentin Regeneration Therapy 2. Restoration by Adhesive Materials 3. Development of Esthetic Dentistry 4. Bacterial Research of Carious Dentin 5. Antibacterial Effects of Restorative Materials 6. Application of OCT to Operative Dentistry	歯学 Dent.
口腔生理学 Oral Physiology TEL 086-235-6640 http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~oralphys/OralPhysiology.html yoshida.ryusuke@okayama-u.ac.jp	教　授　吉田　竜介 Professor YOSHIDA, Ryusuke	1．味覚の受容・伝達・調節機構 2．口腔内外の味覚センサーの機能 3．味覚組織の分化・再生 4．口腔感覚が全身機能に与える影響	1.Reception, transduction and modulation of taste 2.Functions of taste systems in intra- and extra-oral tissues 3.Regeneration and differentiation of taste tissues 4.The roles of orofacial sensory systems on the total health of our body	歯学 Dent.

インプラント再生補綴学 Oral Rehabilitation and Regenerative Medicine TEL 086-235-6680 http://www.okayama-u.ac.jp/user/implant/ kuboki@md.okayama-u.ac.jp	教　授　窪木　拓男 Professor KUBOKI, Takuo	１．口腔インプラント治療を含む補綴治療の効果・効用に関する臨床疫学 ２．歯や歯槽骨，口腔粘膜，関節軟骨，神経などの組織・器官再生に関する基礎研究，ならびにトランスレーショナル研究 ３．口腔インプラントの骨結合の強化・早期獲得のための分子細胞生物学研究 ４．顎関節症・口腔顔面痛に関する基礎研究ならびに臨床疫学研究 ５．慢性筋痛やブラキシズムの病因・病態解明に向けた基礎研究ならびに臨床疫学研究 ６．関節破壊，変形性関節症のメカニズムに関する分子細胞生物学的研究 ７．高齢者や有病者の口腔機能リハビリテーションと生活の質に関する研究 ８．摂食嚥下リハビリテーションと栄養管理 ９．接着性レジンや歯科用レーザーに関する基礎研究，臨床応用研究，および臨床疫学研究	1. Tissue and organ engineering of tooth, alveolar bone, oral mucosa and joint cartilage 2. Molecular cellular biology for osseointegration of dental implant 3. Basic and clinical research for temporomandibular disorders and orofacial pain 4. Clinical epidemiology for dental implant or prosthodontic treatment 5. Basic and clinical research for etiology of muscle pain and oral bruxism 6. Molecular cellular biology for destructive joint disease 7. Oral rehabilitation of elderly people and quality of life 8. Dysphagia rehabilitation and nutritional control 9. Basic and clinical research for dental adhesive resin	歯学 Dent.
歯科矯正学 Orthodontics TEL 086-235-6690 http://www.okayama-u.ac.jp/user/kyousei/classroom/event.html kamioka@md.okayama-u.ac.jp	教 授　上岡　寛 Professor KAMIOKA, Hiroshi	１．歯の移動と骨のメカニカルストレス受容機構に関する基礎研究 ２．バイオイメージングを用いた骨形態計測学的研究 ３．歯の移動に関する細胞生物学，免疫組織化学，分子生物学，神経解剖学的研究 ４．歯根膜再生に関する細胞生物学，分子生物学的研究 ５．顎・顔面の成長発育並びに先天異常に関する骨・軟骨細胞生物学，分子生物学的研究 ６．不正咬合患者の運動生理学ならびに臨床疫学研究 ７．矯正治療に伴う歯列，顎，口腔の形態と機能の変化に関する研究	1. Basic research for mechanotransduction in bone and teeth 2. Bio-imaging research for bone morphometry 3. Basic and clinical research for orthodontic tooth movement 4. Molecular cellular biology for periodontal tissue regeneration 5. Molecular cellular biology for tooth and craniofacial development 6. Basic and clinical research for malocclusion 7. Functional research for craniofacial morphology during orthodontic treatment	歯学 Dent.
咬合・有床義歯補綴学 Department of Occlusal and Oral Functional Rehabilitation TEL 086-235-6685 http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~2hotetsu/Top_e.html minagi@md.okayama-u.ac.jp	教　授　皆木　省吾 Professor MINAGI, Minagi	１．頭蓋下顎機能異常（顎関節症）の発症機序に関する研究（夜間ブラキシズムの発生機序，増強因子，減少因子に関する研究） ２．構音障害の治療に関する研究　（夢の会話プロジェクト関連研究） ３．咀嚼機能に関する研究（咀嚼機能と嚥下機能の関係） ４．歯槽骨及び周囲組織の再生に関する分子生物工学的研究 ５．口腔インプラント周囲支持組織の治癒機構に関する研究 ６．疼痛と顎機能との関連に関する研究 ７．顎関節症と，顎関節へのメカニカルストレスとの関連に関する基礎的ならびに臨床的研究 ８．咀嚼と脳機能に関する研究 ９．高齢者の顎口腔機能に関する研究 １０．歯根膜感覚と夜間ブラキシズムの関連およびその病態分類に関する研究 １１．有床義歯の形態と機能に関する研究	1. Etiology of craniomandibular disorders (TMD) 2. dysarthria and speech function (e.g. function of tongue prosthesis) 3. Masticatory function (Relation between masticatory and swallowing function) 4. Molecular biology on regeneration of alveolar bone and periodontal tissues 5. Oral implantology 6. Pain and Stomatognathic system 7. Mechanical analysis on TMJ loading 8. Occlusion and brain function 9. Geriatric dentistry on stomatognathic function 10. Physiological study on Periodontal sensation and muscle function 11. Function of denture prosthesis	歯学 Dent.

○社会環境生命科学専攻　　Social and Environmental Sciences

教育研究分野 及び 連絡先 Department, HP Address, E-mail	指導教授 Professor	研究内容	Research Projects	学系区分 Faculty
病原細菌学 Bacteriology TEL 086-235-7157 http://www.okayama-u.ac.jp/user/saikin/ osamu@okayama-u.ac.jp	教　授　松下　治 Professor MATSUSHITA, Osamu	１．細菌のコラゲナーゼに関する研究 　１）　機能性ドメインの構造活性相関と再生医療への応用 　２）　細菌の生態学と遺伝子発現調節に関わる分子機構 ２．細菌の病原性に関する研究 　１）　細菌の分泌装置の細胞毒性の分子機構 　２）　細菌の免疫回避の分子機構 ３．細菌の神経毒素に関する研究 　１）　ボツリヌス毒素の治療への応用	1. Study on bacterial collagenases 　1) Structure-function relationship of the functional domains and their applications for regenetative medicine 　2) Bacterial ecology and molecular mechanism of gene expression regulation 2. Study on bacterial pathogenesity 　1) Molecular mechanism of cytotoxicity by bacterial secretion system 　2) Molecular mechanism of escape from immunity 3. Study on bacterial neurotoxins 　1) Clinical applications of botulinum toxin	医学 Med.
口腔微生物学 Oral Microbiology TEL 086-235-6657 http://www.cc.okayama-u.ac.jp/oral_microbiology/ oharan@md.okayama-u.ac.jp	教　授　大原　直也 Professor OHARA, Naoya	１．歯周病原細菌の病原性に関する研究 ２．抗酸菌の病原性に関する研究 ３．組換え生菌ワクチンの開発研究 ４．骨感染症に関する研究 ５．細菌感染と慢性炎症性疾患および生活習慣病との関連性についての研究	1. Pathogenesis of periodontal bacteria 2. Molecular pathogenesis of mycobacteria 3. Development of recombinant BCG vaccines 4. Molecular mechanisms of bone infection caused by bacteria 5. Relationship between bacterial infection and chronic inflammatory diseases	歯学 Dent.
小児歯科学 Pediatric Dentistry TEL 086-235-6715 http://okayama-u-dent-syouni.jp/index.html mnakano@cc.okayama-u.ac.jp	教　授　仲野　道代 Professor NAKANO, Michiyo	１．齲蝕原性細菌の病原性に関する研究 ２．バイオフィルム形成における口腔レンサ球菌のシグナル伝達システムに関する分子生物学的研究 ３．植物抽出物の齲蝕発生に対する抑制メカニズムに関連する研究 ４．齲蝕原性細菌の母子伝播および定着に関連する分子生物学的研究 ５．小児における歯列咬合の育成に関する研究	1. Pathogenesis of mutans streptococci infections 2. Molecular analysis of signal transduction system of *Streptococcus mutans* and its relationship with biofilm formation 3. Mechanism of dental caries inhibition by plant extracts 4. Molecular analysis of mother to child transmission of mutans streptococci 5. Research of dentition growth and occlusion-related in children	歯学 Dent.
医療政策・医療経済学 Health Economics and Policy TEL 086-235-7171 http://soran.cc.okayama-u.ac.jp/view?u=3408263ed1b5282c74506e4da22f6611 j-hamada@md.okayama-u.ac.jp	教　授　浜田　淳 Professor HAMADA, Jun	１．医療政策 ２．医療機関の管理・経営 ３．医療経済学 ４．社会保障論	1. Health Policy 2. Health Economics 3. Social Security System	医学 Med.

公衆衛生学 Public Health TEL 086-235-7184 http://plaza.umin.ac.jp/okayamadph/ public@md.okayama-u.ac.jp	教　授　神田　秀幸 Professor KANDA, Hideyuki	１．依存症・行動嗜癖の予防医学 ①インターネット行動嗜癖 ②ゲーム障害 ③アルコール ④喫煙 2.　予防循環器病学 ①家庭血圧変動要因と生活習慣 ②家庭血圧変動要因と外的要因	1. Preventive medicine for addictive behaviors 1) Internet addiction 2) Gaming disorder 3) Alcohol 4) Smoking 2. Preventive cardiology 1) Blood pressure at home and life-style 2) Blood pressure at home and environmental factors	医学 Med.

予防歯科学 Oral Health TEL 086-235-6710 http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~preventive_dentistry/top.html mmorita@md.okayama-u.ac.jp	教　授　森田　学 Professor MORITA, Manabu	1．歯科疾患予防の公衆衛生学的研究 2．歯科疾患と酸化ストレス 3．歯周病が全身に与える影響 4．口臭の原因と治療に関する研究 5．歯科疾患の社会疫学 6．唾液タンパク質に関する研究 7．口腔乾燥に関する研究	1. Community dental health 2. Periodontal disease and oxidative stress 3. Effect of periodontal disease on systemic disease 4. Oral malodor management 5. Socioeconomic status and oral disease 6. Biological role of salivary protein 7. Drymouth management	歯学 Dent.

Applicant's Name: _____.

Form①

Application Checklist and Submission Instructions

出願書類のチェックリストと出願の説明

O-NECUS Program 2021-2022
Application Submission to Okayama University
Friday, December 18, 2020

Application documents for O-NECUS program 2021-2022 are now available.
We encourage you to gather and complete following documents sooner.
2021 年度入学の O-NECUS プログラムの募集要項ができました。
早めに書類を揃えるようにして下さい。

1. Read the instruction carefully on the form as you complete your applications. 願書をよく読む。
2. Take TOEIC, TOEFL, IELTS, or/and JLPT. 語学能力試験を受ける。
3. Find a department which suite you the most. 自分にあった教育研究分野を見つける。
   Departmental Information: http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/o-necus.html
4. Get a permission to take an exam from prospective supervisor in Japan. 受験の許可を得る。
5. Provide the documents in the checklist below. 下記にあるチェックリストの書類を全て準備する。
6. Submit your completed documents to the International Office at your university.
   大学へ出願書類を提出する。
7. Take Oral Examination (March) 面接を受ける。（3 月）
8. Wait for the result (Middle of April) 合格発表を確認する。（4 月中旬）

★Document Checklist★

All documents must be written in English/ すべての出願書類は英語で記入してください。

Please mark ■ if you provided

□1. **Application Checklist and Submission Instructions 【Form①】**
出願書類のチェックリストと出願の説明【様式①】

□2. **Application for O-NECUS Program 2020-2021 【Form②】**
入学願書【様式②】

□3. **O-NECUS Program Personal History Form 【Form③】**
O-NECUS プログラム履歴書【様式③】

□4. **Certificate of Student Registration issued by your university 【Official document】**
現在在籍している大学の在籍証明書【大学が発行する公式なもの】

□5. **Letter of Recommendation written by your professor with his/her signed【Form④】**
在籍大学指導教授の推薦書【様式④】

□6. **Personal Statement of Research Planning Sheet【Form⑤】**
研究計画書【様式⑤】

□7. **Certificate of Health【Form⑥】**
健康診断書【様式⑥】

□8. **Certified copies of official test scores or transcripts**
語学能力を証明する書類

□9. **E-mail exchange record between you and your intended supervisor at Okayama Univ. In the E-mail, there has to be a statement that the supervisor agrees you to take an examination.**
受入希望教員との E-mail 交信録 ※受験可能な旨を記載してあること。

□10. **Copy of your Passport (if you have)**
パスポートのコピー (持っている方のみ)

Form②

Application for O-NECUS Program 2021-2022

You must complete and submit required application documents no later than **December 18, 2020**. If you miss the deadline or make an illegible response will result in revoked or cancelled the registration.

Photograph
(45mm x 30mm)

■**Applicant's Name** Please print your name as it appears or will appear in your passport.

(自国語) Native language

(ピンイン) Pinyin

FAMILY NAME First name

■**Marital Status** __Single___Married **Gender** ___Female ___Male

■**Date of Birth**_____/_____/_____ **Age**_____
yyyy / mm / dd

■**Current Address, Telephone Number, and Email**

(Current Address)

(Telephone Number) (Email)

■**Current Student Status at University in China**

(Institution) (Division)

(Department)

Period of Enrollment From / / To / /

■**Previous Student Status at University in China (Undergraduate)**

(Institution) (Division)

(Department)

Period of Enrollment From / / To / /

■**Intended Supervisor at Okayama University**

(Department)

(Supervisor)

■**Title of Research at Okayama University**

(English)

■**Keywords**

(English)

■**Supervisor at University in China**

(Email)

Form③

O-NECUS Program Personal History Form

Applicant's Name

(自国語) Native language

(ピンイン) Pinyin

FAMILY NAME First name

		Name	Year and Month of Entrance and Completion From To	Duration
Academic Record	Primary Education			
	Lower Secondary Education			
	Upper Secondary Education			
	Tertiary Education (Undergraduate)			
	Tertiary Education (Graduate)			
Employment record	From To	Name of organization and position		

List your significant publications (published paper, presented paper, report, conferences, etc.). Please give enough infomation such as title, year, journal name, co-authors in order for the committe to check the work.

【English】

Language proficiency	Japanese		
	English		(e.g.TOEFL score 570)
	Others		

After you are accepted and enrolled at Okayama Univ., and you have to go back your country during O-NECUS program (October 1, 2021 ~September 30, 2022) due to any unavoidable reasons, such as the medical exam, please write a month and reason.

When:

Reason:

Form④

Letter of Recommendation

Dear Dean,
Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences,
Okayama University

I recommend this applicant below for admission to O-NECUS program 2021. I believe that he/she is a capable to perform at a superior level. I hearby agree that I will supervise him/her jointly with supervisors at Okayama University.

Applicant's Name

（自国語） Native language

_____

(ピンイン) Pinyin

_____ _____

FAMILY NAME First name

Title of Research at University in China

(English)_____

Please use the space below to describe the applicant's ability.

Date_____

Name_____ **Signature**_____

Position_____

Organizational Affiliation_____

Telephone_____ **Email**_____

Form⑤

Personal Statement of Research Planning Sheet

Applicant's Name

(自国語) Native language

_____

(ピンイン) Pinyin

_____ _____

FAMILY NAME First name

Institution _____

Supervisor at University in China_____

Title of Research at Okayama University-

(English)_____

Please use the space below to describe general information about your research.

Form⑥

健康診断書　CERTIFICATE OF HEALTH

***Fill in this form in English**

氏　　名 Name	(FAMILY NAME)　　(First name) ☐ 男 Male　☐ 女 Female 生年月日 Date of Birth　　年 Year　月 Month　日生 Day　(満 Age　歳)		
現 住 所 Present Address			
既 往 症 Past History			
身　　長 Height	cm	体　　重 Weight	kg
視　　力 Eyesight	(With Glasses or Contact Lenses) 右 Right　(　　) 左 Left　(　　)	聴　　力 Hearing	右 Right 左 Left
胸部X線 Chest X-ray Examination	☐ 間接 Indirect　☐ 直接 Direct 所見 Impression		
内科理学的所見 Physical or Psychological Conditions			
現在の健康状態及び疾病異常 Present Condition of Health and Disease			
その他の所見 Other Remarks			

上記のとおり診断します。　I hereby declare that the above statement given above is true and correct.

年 Year　月 Month　日 Day

医師氏名 (Physician's Name in Print):

医療機関名 (Office/Institution):

住所 (Address):

電話番号 (Telephone Number):

印
Official Seal and Signature

（注）診断事項中，異常がない場合もその旨記入して下さい。　※の欄は記入しないでください。
Please fill in this paper even you cannot find any abnormality.　Colum※is an office use only.

○ヘルスシステム統合科学研究科

1）日程（短期留学制度）

1 出願期間	１０月中旬～１１月３０日（必着）
2 インターネット面接	１２月上旬まで（願書出願後随時）
3 合格（受入許可）発表	１２月下旬～１月上旬
4 入学手続	２月中旬（４月入学） 又は ８月中旬（１０月入学）
5 岡山大学入学	４月又は１０月
6 渡日	４月又は１０月

2）募集人員

短期留学　　若干名

3）出願資格

O-NECUS 参加大学修士課程大学院生 又は 学部(5年)－修士(2年)連結コース在学生

4）出願手続

出願書類は，様式に合わせて中国語又は日本語及び英語で作成し，中国各大学の国際交流室に提出すること。

5）出願書類

1）O-NECUS 制度 入学願書　【様式①】

2）O-NECUS 制度 履歴書　【様式②】

3）O-NECUS 制度 在籍証明書　【様式③】

4）O-NECUS 制度 在籍大学指導教授 推薦書　【様式④】

5）O-NECUS 制度 研究計画書（日本語又は英語）【様式⑤】
（出願時に提出）

6）O-NECUS 制度 渡日計画書【様式⑦】

＊ 上記の外，出願書類に課す条件は次のとおり。

① 出願書類は日本語版の様式を使用し，日本語で作成すること。

② 学部及び大学院の成績証明書並びにその日本語訳を提出すること。ただし，大学院１年次生で，大学院の成績証明書を提出できない者は，不要とする。

③ 日本語能力試験Ｎ２以上の合格通知書を提出すること。なお原本を提出すること（希望者には後日返却する）。

④ 出願書類の提出前に，必ず受入希望教員と連絡を取っておくこと。

6） 選抜方法

出願書類による書類審査及びインターネット面接（日本語又は英語）を実施する。

7） 合格（受入許可）発表

岡山大学各研究科が E-mail により志願者及び在籍大学指導教授へ連絡し，後日，合格通知書（受入許可）を送付する。

8） 入学手続

４月入学の場合２月中旬までに，１０月入学の場合８月中旬までに以下の書類を中国各大学国際交流室へ提出すること。

（１）写真（縦４㎝×横３㎝）２枚

（２）O-NECUS 制度 渡日計画書【様式⑦】

（３）パスポートのコピー

9） 問い合わせ・出願書類提出先

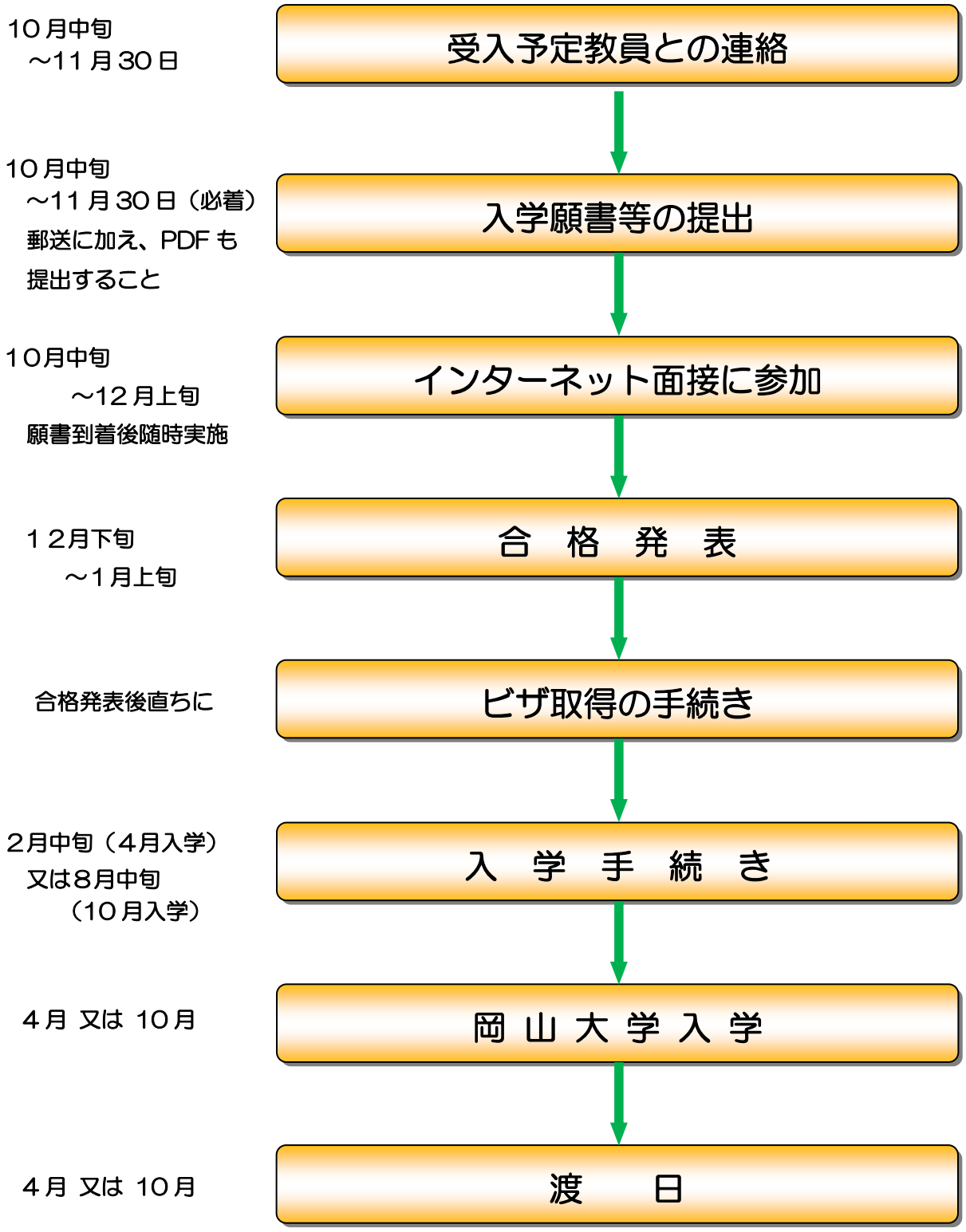
岡山大学自然系研究科等学務課大学院担当

〒700-8530 日本国岡山県岡山市北区津島中３－１－１

TEL： +81-86-251-7771 FAX： +81-86-251-8580

E-mail：hs7771@adm.okayama-u.ac.jp

１０）出願から渡日までの流れ



III. 各種様式

（1）O-NECUS 制度 入学願書	様式①
（2）O-NECUS 制度 履歴書	様式②
（3）O-NECUS 制度 在籍証明書	様式③
（4）O-NECUS 制度 在籍大学指導教授 推薦書	様式④
（5）O-NECUS 制度 研究計画書	様式⑤
（6）宣誓書	様式⑥
（7）O-NECUS 制度 渡日計画書	様式⑦

【記入上の注意事項】

・メールアドレスは qq 以外のメールアドレスを記入してください。

・訂正する場合は修正テープを使用せず、間違った箇所に二重線で消し、押印または署名し、空欄に正しく記載してください。

・各大学で「履歴書」と「在籍証明書」の修了予定年月日を全員統一してください。

様式①

O-NECUS 制度　入学願書＿＿＿＿＿年度

【 双方向学位制度 ・ 短期留学制度 】 ・・・希望する制度を○で囲むこと。

写　真

ふりがな

氏名（漢字）　　性別　男 ・ 女

（英語）

生年月日　　年　　月　　日　　年齢　　才

住所　　既婚 ・ 独身

E-mail　　TEL

○在籍大学　　学生番号

大学大学院　　専攻

３年制修士 ・ ２年制修士 ・ 学部-修士連結コース　　年次・入学予定

○受入希望研究科 及び 受入希望教員名

岡山大学大学院　　研究科　　専攻

教授

○研究テーマ：（日本語）

（英語）

Key Words：（日本語）

（英語）

在籍大学 指導教授名

E-mail

様式②

O-NECUS 制度　履歴書

氏　名（漢字）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（英語）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

	入学年月	卒業年月	学　校　名	年数
学歴	年　月～	年　月	小学校	
	年　月～	年　月	中学校	
	年　月～	年　月	高等学校	
	年　月～	年　月	大学	
	年　月～	年　月	大学大学院	
	年　月～	年　月		
職歴	勤　務　期　間		勤務先名（身分等）	
	年　月～	年　月		
	年　月～	年　月		
	年　月～	年　月		

研究業績（発表した論文，報告書，学会発表等（題目，発表年，発表誌・学会名，共同発表者名等）

【日本語で記載】

【英語で記載】

語学力	日本語能力	（例：日本語能力試験 Ｎ１）
	英 語 能 力	（例：TOEIC　570 点）
	そ　の　他	

様式③

O-NECUS制度　在籍証明書

岡山大学長　　殿

下記の申請者は、ここに記載のとおり、本学に在籍していることを証明します。

申請者氏名	
在籍大学名	
在籍学部/研究科	
在籍課程/学年 ＊1	□ 学部　□ 短大 □ 修士　学年＿＿＿＿＿＿ □ 博士
卒業/修了予定年月日　＊2	年　月　日
取得予定学位	□ 学士　□ 準学士 □ 修士　専攻＿＿＿＿＿＿ □ 博士
留学先大学名	

提出年月日　　年　　月　　日

氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

職名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

署名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

*1 申請時の学年を記入してください。

*2 日本に留学した場合の卒業/修了年月日を記入してください。
（卒業/修了年月日は，日本留学の終了日より後でなければなりません。）

＜＜＜ 注：この証明書は申請者の在籍大学の責任者が記入してください。＞＞＞

様式④

O-NECUS 制度　在籍大学指導教授 推薦書

岡山大学大学院＿＿＿＿＿＿＿＿研究科長　殿

下記の者を，＿＿＿＿年度 O-NECUS【 双方向学位制度 ・ 短期留学制度 】による学生として推薦し，岡山大学の受入教員と共同指導を担当することに同意します。

記

学生氏名（漢字）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（英語）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学生番号＿＿＿＿＿＿＿＿

共同指導テーマ（日本語）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（英語）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

推薦理由を英語又は日本語で簡単に記入してください。

＿＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿＿日

所属・職名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

E-mail＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ TEL＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

様式⑤

O-NECUS 制度　研究計画書

学生氏名（漢字）　　（英語）

大学名　　学生番号

在籍大学 指導教授名

受入希望研究科名　　受入希望教員名

研究テーマ

（日本語）

（英語）

研究の概要（日本語又は英語）

宣　　誓　　書

私は，岡山大学大学院学生として入学のうえは，岡山大学管理学則および岡山大学大学院学則に従い，学生の本分を守り学業に専念することを誓います。

＿＿＿＿年＿＿月＿＿日

研究科名

受験番号

氏　　名　　印

様式⑦

O-NECUS 制度　渡日計画書

【 双方向学位制度 ・ 短期留学制度 】 ・・・希望する制度を〇で囲むこと。

氏　　名（漢字）　　（英語）

学生番号

在籍大学 指導教授名

受入希望教員名

年 ４月 ・ １０月	岡山大学入学
４月 ・ １０月	渡日
年 ３月 ・ ９月	帰国
月	
月	

※ 短期留学制度の学生は，入学時期と渡日時期は同じとなります。